

平成23年度優先度判定パブリックコメント結果

No.	属性	年代	府省名	施策番号	施策名	ご意見概要	ご意見	その理由
5001	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設(J-PARC)	このまま推進すべき	基礎科学を推進する国際的な研究拠点としてさらに発展させるべきである。	直接の応用に結びつかない基礎科学による知見自体に高い価値を置くことができるのは国民の科学への理解と期待、そして文化的な成熟なくしてはありえない。そして、そのような国民の意識こそが、先進国、文化国家を形成する礎であり、アジアのリーダーとしての日本の地位を不動にするものである。
5002	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	日本の科学の土台となる予算であり、推進することは必須である。	資源の乏しい日本にとって、科学技術は日本の誇るべきものである。特に基礎科学の発展は日本の文化レベルの向上につながり長期的には安定な日本の発展に寄与するものであるため。
5003	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	40～49歳	文部科学省	24136	世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)	このまま推進すべき	今後とも推進するとともに確立した拠点として恒久化を進めていくべき。	数物連携宇宙研究機構にPIとして参加しているが、村山機構長のリーダーシップのもと海外の研究者に対する敷居を大幅に下げていると感じられる。一方所員の任期等があることが今後の問題となる可能性を感じている。
5004	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24143	グローバルCOEプログラム	改善・見直しをした上で推進すべき	大学での各学部ごとではなく各学科ごとに分けてこのプログラムを行った方が、より大学ごとの特色を出せるのではないかと思います。	この施策は博士課程の大学院生にはなくてはならない施策であり、今後も継続して推進すべきものであることには間違いありません。そのうえで、各大学の各学科ごとの特色をより出すことができるように改善すべき点を考慮して、この施策を推進していくべきだと思います。
5005	その他	50～59歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	科学技術の進展を支える研究開発費の支出を惜しむべきではありません。将来のための重要な投資と思います。	大学で良い研究成果が出れば、若い人達で科学技術研究者を目指す人が増えて、結果的に豊かな社会の実現につながります。
							科学研究費補助金は、	

5006	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	大学などの研究機関において、最も基礎となる研究経費の一つであり、基礎学問に立脚した研究を推進できる貴重な研究費である。また、若手研究者の独自のアイデアを基にしたチャレンジングな研究にトライできることにも大きな意義がある。こうした研究は、1-2年などの短いスパンで実用化に繋がることは難しいが、大学の最も重要なミッションの一つである、新規学術の構築と人間社会を発展させるための基礎学問の推進には、必要不可欠な研究費である。	戦後の高度経済成長に代表される我が国の発展は、科学技術・学術を基盤とした発展であることは、万人の認めるところである。このことは、「ものづくり立国」、「科学技術立国」を標榜する我が国の基本理念であることから明確である。科学技術・学術の発展を原則さえることは、金属・石油などの資源に恵まれない我が国には、その名の通り、死活問題となることを、十分に理解されたい。	
5007	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	このまま推進すべき	研究者個人の発想に基づく、さまざまな研究を推進するための補助金であり、これにより研究の本質ともいえるべき、自由闊達な発想と、挑戦を可能としてきた。諸外国と比べて、より増額して社会と文化の基盤となる科学研究を推進すべきである。	
5008	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	40～49歳	文部科学省	24109	海洋研究開発機構運営費交付金「地球環境変動研究」	このまま推進すべき	地球環境問題は、現在すでに地球温暖化、水資源問題など世界が直面している喫緊の課題となり、人間活動の持続的な営みの実現する上で理解が欠かせない分野です。日本としても国の施策や方向性を決める重要な要素として自国でいち早く解明していく問題であり、国策として取り組む必要があります。	地球環境問題は、一朝一夕で理解できるものではなく、継続的な調査、研究が必要です。これまでに起きてきた、あるいは現在進行中の気候変動の理解なしでは、今後起こりうる予測ができません。今後も地球環境変動研究を実施する研究者の育成のためにも継続的な調査、研究が必要です。	
5009	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24143	大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム	このまま推進すべき	このまま推進すべき	国際的に通用する科学研究に対する重点的な財政支援は非常に重要であると考えます。	私の在籍している大学では、PDやTAの給料としても使用されており、研究者育成としての財源として必要不可欠であると考えます。
								光通信産業は、現在深	

5010	その他	30～39歳	総務省	20102	超高速光エッジノード技術の研究開発	このまま推進すべき	刻な問題になっておりまず雇用問題の解決につながります。	光通信産業は将来的に全ての産業の基盤になるものだからです。
5011	民間企業	40～49歳	経済産業省	27128	水素製造・輸送・貯蔵システム等技術開発	このまま推進すべき	2015年に燃料電池自動車・水素供給を普及開始する上で水素インフラのコストダウンが不可欠であり、極めて重要な検討課題である。今後は水素ステーションだけではなく、水素供給のサプライチェーン（集中製造～大規模輸送～充填）全体でのコストダウン技術の開発に選択と集中するとともに、規制見直しの着実な推進を下支えるべきである。	水素供給インフラのコストダウンに向け、技術開発と規制見直し・基準整備が不可欠である。
5012	民間企業	40～49歳	文部科学省	24167	固体ロケット	このまま推進すべき	平成25年度の打ち上げを実現するよう、固体ロケットの詳細設計、固体モータ開発、アビオニクス開発の活動を推進すべきである。	糸川教授のペンシルロケット実験以来、我が国の固体ロケット技術は、主に科学衛星打ち上げ手段として発展し、M-Vロケットは世界最先端の固体ロケットとして「はやぶさ」「すざく」「あかり」などの科学衛星の軌道投入に成功している。次期固体ロケットの開発は、既に運用終了となったM-Vの固体ロケット技術を継承し、我が国が小型衛星を機動的に打ち上げる手段を確保するものであり、積極的に推進すべきである。
5013	大学・公的研究機関（独法・公設等）	30～39歳	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設（J-PARC）	このまま推進すべき	J-PARCは世界が注目する最高レベルの装置であり、基礎研究、応用研究、ともに最先端の研究が見込まれている。このプロジェクトを一層推進させることで、世界に対して日本の研究レベルの高さを示すことができる。	私は研究者であるが海外に出張に行くとJ-PARCの注目の高さが伺える。基礎科学は早くから国際協力が行われている分野である。またニュートリノ研究はノーベル賞級の研究成果も見込まれる。
5014	大学・公的研究機関（独法・公設等）	60歳～	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設（J-PARC）	このまま推進すべき	ニュートリノ物理、ストレンジネス物理から物性、生物物理まで、多くの分野にまたがる国際的にユニークな実験施設で、推進が強く望まれる。	世界最高の施設で研究を行うことは基礎科学の若手研究者育成のためにきわめて有効である。

5015	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24143	大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム	このまま推進すべき	科学技術に支えられた日本の構築にむけて、世界的に通用する研究者を育成する政策が必要とされている。グローバルCOEプログラムでは、各拠点において得意とする研究分野を中心に、これまでに国際協力の増加や博士学生の育成などに成果をあげてきた。大学での国際的研究教育拠点形成のために、グローバルCOEプログラム予算の維持およびさらなる拡充を強く求める。	国立大学の運営費交付金の削減が継続的に行われている現状で、世界的に競争力を持つ研究を大学で行うことを目的とする事業であるグローバルCOEプログラムは、研究現場での国際協力および大学院生を含む若手の育成を推進する大きな力となる。アジア各国が科学技術推進に力を注いでいる今こそ、科学技術立国としての我が国の将来への投資として、若い人材育成に予算を配分する必要がある。
5016	民間企業	40～49歳	文部科学省	24170	Bepi Colombo(水星探査プロジェクト)	このまま推進すべき	水星磁気圏探査機Bepicolomboは、我が国の宇宙科学分野における重要プロジェクトであり、現在進行しているフライトモデル製作を23年度中に完了するよう継続すべきである。	磁気圏・磁場観測は我が国が「あけぼの」「GEOTAIL」などの科学衛星により世界最先端の実績・技術力を有する。本施策は日欧共同により探査領域を水星磁気圏に広げることにより、惑星磁場・磁気圏に対する人類の知見を飛躍的に高め、本分野における我が国の主導的地位を確立するものであり、積極的に推進すべきである。
5017	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24178	大型放射光施設(SPring-8)	このまま推進すべき	SPring-8は世界に誇る放射光施設であり、物理、化学、生物の分野において最先端の成果を生み出し続けており、その成果は続々と医薬、食品の分野へも応用研究が推進されており、さらに研究費を投入し、1番の座を守り抜くべきである。	SPring-8の使用は、基礎研究のみならず応用開発を通じた社会還元にも続々と業績を上げており、日本国としてさらに力を入れて推進すべき施設であり、プロジェクトであるため。
5018	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24173	産学イノベーション加速事業【先端計測分析技術・機器開発】	このまま推進すべき	先端計測分析技術の開発を推進し、産学イノベーションにむけて十分な支援を行っていくべきと考えます。	計測分析技術は我が国の得意なモノ作りと緻密なアプローチが生かせる分野であり、今後も中国やインドなどの新興国が台頭してくる中でも、その優位性を活かして、継続的に世界をリードするような技術を発展させ、各分野に浸透させていくべきと考えられるため。

5019	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24008	日本におけるテニユアトラックの普及	このまま推進すべき	日本において近年顕著になっているポストドク問題解決の一助になるはずの施策である。任期無しの職に限りがあるかぎり、ポストドクで研究生活を送る時間が長くなるのは必然である。ポストドクからのステップアップを支援することで、研究者の流動性を高めることができ、業界の発展を促せる。	いまや研究職の流動性は、分野を問わず「停滞」していると言える。これはポストドク万人計画の失敗を意味している。この無計画な施策を行った責任を取る意味でも、ポストドクを支援する施策を推進すべきである。
5020	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24011	リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備	改善・見直しをした上で推進すべき	重要な施策であり、予算のさらなる増額や大学の定員増を認めるべき。	大学等において研究資金の調達・管理、知財の管理・活用等を総合的にマネジメントできるリサーチ・アドミニストレーターは重要であるが、日本においてこのような研究支援者は諸外国に比べ非常に少なく、研究効率が非常に悪いため。
5021	民間企業	40～49歳	文部科学省	24191	第26号科学衛星(ASTRO-H)	このまま推進すべき	科学衛星ASTRO-Hは、我が国の宇宙科学分野における重要プロジェクトであり、詳細設計・EM試験・FM製作の活動を推進すべきである。	これまで我が国は「はくちょう」「てんま」「ぎんが」「あすか」「すざく」のX線天文衛星により、世界に冠たる観測成果を挙げている。本施策は、現在観測運用中の「すざく」の後継機として、世界最高性能の観測を目指すミッションであり、宇宙の歴史、構造に関する知見を飛躍的に向上させるとともに、X線天文分野における我が国の主導的地位を確立するものであり、積極的に推進すべきである。
5022	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設(J-PARC)	このまま推進すべき	J-PARCは、素粒子物理学などの一部の研究分野向けに建設された従来型の高エネルギー加速器施設ではなく、中性子・ミュオンを生成・利用する総合科学研究施設である。特に物質科学・生物学などをはじめとした様々な産業応用が期待されており、分野を超えた高い波及効果が期待されている。以上をふまえ、科学全体からの期待が大き	過去20年、放射光施設から発生するX線を利用した生命・物質科学が大きく発展してきた。しかしながら近年、X線では測定困難な試料に対する中性子を利用した研究が大きく進んできており、X線と中性子の両者を利用することによる相乗効果が期待されている。中性子利用施設の中心となるJ-PARCを推進することは、今後の日本の科学

							い当施設を今後も推進すべきであるとする。	と技術の発展に大いに役立つと考える。
5023	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24119	ナショナルバイオリソースプロジェクト	このまま推進すべき	重要な施策であり、推進すべき。	バイオリソースは、ライフサイエンス研究を進めていく上で必要不可欠な基盤であり、それを個々の研究者や研究室任せでなく、リソースの一元的な管理を行い、科学材料としての妥当性を検証し厳格な品質管理等を行うことが最も効率的で効果的であるため。
5024	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	科学研究費補助金は、未来への潜在性を有する若手の研究成果を促進する大きな要因です。より一層の拡充とともに、審査方法の洗練(よりバラエティに富んだ研究へのチャンス提供)を希望します。	私自身、申請資格を得た2年目の申請で若手Bの研究費を獲得し、飛躍的に研究を進めることができ、その後、多くの産学連携の実施を行うに至っております。また、潤沢な研究費は、確実に学生に良い研究環境を提供することに繋がっています。
5025	民間企業	40～49歳	文部科学省	24113	(独)宇宙航空研究開発機構「地球観測衛星網の構築」	このまま推進すべき	グリーン・イノベーション施策の一環として、GCOM-C/W、GPM/DPR、ALOS-2などの「地球観測衛星網の構築」事業は是が非でも推進すべきである。	「地球観測衛星網の構築」は、全球地球観測システムの構築にも貢献し、我が国における温暖化対策のみならず、国際的な推進にも知るものであると考えるから。
5026	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24121	脳科学研究戦略推進プログラム	このまま推進すべき	脳科学研究戦略推進プログラムを是非推進していただき、さらなる発展を望みます。	本施策により、難解であった中枢神経系の難治性疾患に根本から取り組む体制が整ってきたと実感しています。また多くの成果も見られ、不可能と見られた脳科学解明が現実のものへとなってきています。高度化する社会と共に、生ずる病気や問題も高次化しています。脳内メカニズムを紐解くことにより、それら問題解決へ野道が開けると期待されます。さらに本施策のような支援を受けることにより、将来の最重要分野である脳科学分野で日本が世界の先頭に立って先導していくことが重要であると思えます。

5027	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24129	バイオリソース事業	このまま推進すべき	重要な施策であり、推進すべき。	バイオリソースは、ライフサイエンス研究を進めていく上で必要不可欠な基盤であり、それを個々の研究者や研究室任せでなく、リソースの一元的な管理を行い、科学材料としての妥当性を検証し厳格な品質管理等を行うことが最も効率的で効果的であるため。
5028	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24141	特別研究員事業	このまま推進すべき	一層推進すべきである。	大学院の学生、及び、博士取得後の研究員の待遇の向上は科学技術の土台を担うものである。特にアメリカの大学院生は給料をもらいながら研究をしているので、海外で日本の大学院生が学費を払っていると話すと驚かれる。学費の免除は難しくとも特別研究員事業の一層の推進を通して、海外、特にアメリカとの待遇の差を埋めるべきであると考える。
5029	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	40～49歳	文部科学省	24149	国立大学法人等施設の整備	このまま推進すべき	日本国において、若き人材の教育、研究の推進の原動力となっているのは、国立大学法人であり、しかし、一方で、国外、中国やインドに比べても設備が貧困であり、研究の分野でも中国に抜かれようとしている。日本が科学技術立国であり続けるためには、国立大学法人施設の整備が必須である。	すでに経済大国でない日本が国際社会で国威を保つためには、科学技術立国であり続けなければならない。その原動力である国立大学法人の研究設備を中心に充実させ、さらなる発展をさせることが、日本の国威も保ち経済を発展させるために必要不可欠である。
5030	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24177	J-PARC	このまま推進すべき	J-PARCでの基礎科学は、とりわけ日本が中心となって推進しているので、さらに力を注いで欲しい。	質量の起源、相互作用の解明、新現象の探求などのテーマについて、J-PARCで知の地平を日本がリードして広げる事が出来るから。
5031	大学・公的研究機関(独法・公設試)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	重要な施策であり、増額して推進すべき。	研究者の自由な発想に基づく研究に助成する唯一の競争的資金であり、最も重要な競争的資金であるため。

	等)							
5032	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24161	ITER計画(建設段階)等の推進	このまま推進すべき	ITER計画および幅広いアプローチ活動によって研究開発が進められている核融合は、恒久的なエネルギー源として他に類をみない優れた特性を有しており、これまでの研究投資の蓄積により日本の研究開発は世界の最先端を走っている。さらに継続的に推進することにより、原型炉設計開発に向けた研究の国際的優位性を維持することができ、早期の核融合炉実現に貢献できると期待できる。	現在世界の核融合研究は、日本・欧州・米国の3極がリードしている。特に日本は工学研究と深く結びついた磁気核融合の研究を進めており、米国と欧州に比べて優れている。近年、欧州の研究もITERの建設開始に伴って広がりを見せており、中国もエネルギー開発の選択肢として、核融合研究に重点的研究投資を行っている。これらの極に対する国際競争力を維持するためには、本施策の推進を継続することがぜひとも必要と考える。
5033	民間企業	50～59歳	経済産業省	27005	グリーン・サステイナブルケミカルプロセス基盤技術開発	このまま推進すべき	化石燃料に変わる技術は世界各国で研究されていると思うがこの技術があれば化石燃料の消費を劇的に減らす事が出来る技術はない。それゆえに、少しでも化石燃料の消費を抑えCO2削減に効果ある技術の検討は必要である。大きな効果がなくても数多くの技術を開発すべきである。	化石燃料が枯渇するかCO2が地球温暖化の原因であると言うのは明確ではないと思うが、これらの対策を採ることは有意義である。また、日本独自の技術を選考して開発する事による経済効果も期待できると考える。
5034	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24134	戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発事業を含む)	改善・見直しをした上で推進すべき	重要な施策であり、増額して推進すべき。	科研費の成果を発展させる役割のため。事務手続きの簡素化が必要である。
5035	大学・公的研究機関(独法・公設等)	60歳～	総務省	20107	戦略的情報通信研究開発推進制度	改善・見直しをした上で推進すべき	独創性・新規性に富む研究開発課題を大学・独法・企業・地方自治体の研究機関などから広く公募することは極めて重要である。	日本の先進産業、とりわけものづくり産業にあって、付加価値を持った新規材料、新規デバイスの開発が極めて重要であり、そのための独創性・新規性に富む研究開発は重点投資すべきである。
							ノーベル物理学賞を受賞した素粒子物理学の小林一益川理論は、素粒子物理学の基本法則に	上で述べたように、現在の素粒子物理学では、小林益川理論を超える

5036	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24138	Bファクトリー加速器の高度化による新しい物理法則の探求	このまま推進すべき	宇宙の物質と反物質の非対称性の基となるCP対称性の破れが存在する可能性を示して、それがBファクトリー実験などで検証され非常に成功した理論です。しかし現在では、宇宙の物質と反物質の非対称性は、小林一益川理論だけでは説明ができないということが理論的に明らかになってきています。そのため、小林一益川理論を超える理論を理解することが、現在の素粒子物理で求められています。そのためにBファクトリー実験の高度化による、小林一益川理論を超える物理法則の実験的探求は、世界の物理学者が非常に期待していることだと思います。	素粒子理論の理解が求められています。最近のアメリカのフェルミ研究所のTevatron加速器実験では、CP対称性の破れの観測で(まだ統計的には有為とは言えない段階ですが)小林益川理論の予言とは食い違いがあるような結果を示唆しています。よってCP対称性の破れのさらなる実験的観測、さらにBファクトリー加速器の高度化による今までに観測されていない稀な事象の発見は、小林益川理論を超える理論の理解のために非常に重要だと言えます。よってこの施策はこれからも強く推進すべきだと思います。
5037	官公庁	50～59歳	文部科学省	24125	免疫・アレルギー科学総合研究事業	このまま推進すべき	花粉症に対する有効な薬を開発して欲しい	毎年、自分を含めた家族が春先に花粉症に苦しんでいる。若い人で花粉症になる人もいと聞くので、孫が花粉症を発症する前に有効な薬が作られれば良いと思っている。
5038	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24135	最先端研究開発戦略的強化費補助金	このまま推進すべき	重要な施策であり、推進すべき。	最先端研究施設・設備や支援体制等の環境整備により国内外から優秀な研究者を惹きつけて国際頭脳循環の核となる研究拠点を形成することは、我が国の研究開発・人材育成における国際競争力を強化する上で重要な施策であるため。
5039	民間企業	40～49歳	文部科学省	24114	(独)宇宙航空研究開発機構「地球観測予測・統合解析に向けた衛星観測データの高度化」	このまま推進すべき	グリーン・イノベーション施策の効果を全球的に検証する手段など社会インフラとして必要となる精度を達成するためには、データ処理の高度化や世界最先端となる新たな知の創出、先進的な社会システムの導入に繋がる解析技術の研究開発は必須である。	関係府省、研究機関、民間企業等との連携によって、データの利用を一層拡大することを通じ、洪水予測、台風などによる豪雨対策、災害監視を中心とした多様な社会分野で幅広くイノベーション創出の可能性があると考えるから。

5040	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設(J-PARC)	このまま推進すべき	J-PARC建設をおしすすめることは、科学という文化の推進、人材の育成などという点できわめて重要である。	そこでしかできない基礎科学として重要な実験が多く計画されている。日本の装置で科学を牽引することができるまたとない機会である。また、そうした実験は国際協力で行われており、海外の研究者と議論しながら若い学生も成長できる。
5041	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24136	世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)	このまま推進すべき	日本が将来において先進国としてその高水準な経済や環境を維持できるかどうかは、単純な生産能力よりも、世界最高水準の科学技術を持続できるかどうかにかかっているのは明らかだと思います。世界トップレベル研究拠点プログラムは、日本の学術研究を国際的に魅力的なものにし、それを可能な人材を育成するために極めて重要なプロジェクトだと思います。したがって、私は、このプロジェクトが引き続き行われることを強く希望します。	特に私の所属するIPMUでは、国内最高レベルのスタッフと世界各国から招待した著名な研究者などで構成され、設立から3年もたってませんが、すでに世界的に極めて高く評価されている研究を盛んに行っております。また所属する研究者の環境も素晴らしく、国際的な要素も最大限にとりいれ、大半の外国人研究者にも大変人気が高いです。しかし、科学の極めて大きな研究成果やブレークスルーは、短期間ではなかなか実現が不可能です。そのために、IPMU研究所の潜在的な大きな力を発揮するには、数十年程度の長い期間が必要なのです。
5042	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24117	重粒子線を用いたがん治療研究	このまま推進すべき	重粒子線で行うがん治療は日本が誇る画期的な技術である。がんが日本における死因の第1であることを考えると、この研究開発は今後ますます進めなければならぬ。特に高齢者にとっては手術に代わる夢のような治療法である。安心して健康な社会生活を送るために、万人に必要な技術といえ、是非とも推進すべきである。	重粒子線のがん治療はすでに成果をあげつつある。生命保険の特約に盛り込まれていることから周知であろう。しかしながら、この技術は非常に高度な科学技術、特に加速器関連の技術を要する。したがって放射線を扱うという点に於いて、注意深く研究開発を平行して進めなければならない。また、現在のところ、人体の全ての部位に有効な治療法ではないため、たゆまない基礎研究が不可欠である。
							私はグローバルCOEプ	私は東北大学のグローバルCOEプログラムの

5043	大学・ 公的研究 機関 (独 法・公 設等)	20～ 29歳	文部 科学 省	24143	グローバル COEプログラ ム	このまま 推進す べき	プログラムをこのまま推進すべきだと考えます。グローバルCOEプログラムは、企業や大学の垣根を無くし、更には大学間の分野の隔たりを無くすような、とても魅力的なプログラムです。日本の文化・経済などの発展を願うなら、むしろ更なる推進・拡張を行うべきだと強く感じます。また、それが日本の発展の一番の近道であると思います。	助教として約2年間にわたって職務を全うしています。その仕事を通して感じたのですが、これまでに出会うことの少なかった方々と出会い、共に仕事をする事で、刺激を受けるとともに新しいアイデアが生まれ、自身の研究も活発になりました。またプロジェクト自体も進展しており、相乗効果が発揮されていたように強く感じます。
5044	大学・ 公的研究 機関 (独 法・公 設等)	30～ 39歳	文部 科学 省	24136	世界トップレ ベル研究拠 点プログラム (WPI)	改善・見 直しをし た上で推 進すべき	重要な施策であり、推進すべき。また、拠点というからには施設整備も国が行うべき。	世界トップレベルの研究拠点を形成することにより、画期的な研究成果、新産業・新技術を創出するため。
5045	大学・ 公的研究 機関 (独 法・公 設等)	30～ 39歳	文部 科学 省	24154	研究者の養 成(海外特別 研究員、若手 研究者インタ ーナショナル ・トレーニング ・プログラ ム)	このまま 推進す べき	若手の海外で研鑽するのは奨励すべきことである。	日本の大学院教育のレベルは高く、日本の優秀な大学生が海外の大学院に流出するのを避けている。一方で、国内で殻に閉じこもりがちになるのも否めない。大学院生や若手に海外に行くことを奨励し、海外のスタンダードでものごとを考える、研究を進める姿勢を身につけるのは、国際的視点を持つ視野の広い研究者の育成に役立つため。
5046	民間 企業	30～ 39歳	経済 産業 省	27018	次世代照明 等の実現に 向けた窒化 物半導体等 基盤技術開 発	このまま 推進す べき	照明は現代社会において必要不可欠なものであり、生活においても欠かせないものです。現在地球規模で温暖化が進んでおり、CO2の削減は後世のためにも避けて通れないと思います。こういった観点より、発明されて以来、人間が一番使う物の一つとしてあがる照明が、わが国の技術で高効率化、省エネルギー化できれば、エネルギーの削減に大きく貢献するものと考えます。したがって当施策を推進し早い	現在一般的に多く使用されている白熱灯、蛍光灯に比べLED、有機EL照明は省エネルギー化が大きく望めるものと認識しています。しかし、現在では技術的に進むうにも、それを取り巻く環境・コストが研究開発の妨げとなっていると思います。当施策をもとにプロセス、装置の確立ができればコストも下がり、より早い実現・普及に寄与するものと考えます。

						実現を望みます。	
5047	大学・ 公的研究 機関 (独 法・公 設試 等)	60歳 ～	経済 産業 省	27007	次世代印刷 エレクトロニ クス材料・プ ロセス基盤 技術開発事 業	このまま 推進す べき	本施策はその背景となる経済効果の展望、基礎技術蓄積、日本独自技術の蓄積のどれにおいても疑い得ない重要性がある。しかしながら現在の低経済成長時にあって、最も大事な製造技術開発への投資が大きく鈍ってきていること状況が顕著である。製造技術を高めるのは用途目標を鮮明にすることが必須であり、どちらの側からも今一步の日本の現況がある。こうしたことから国のリードと企業大学研究機関の連携をサポートし、促すことが最も大きな推進力を生み出すと考えます。 私はインクジェット技術の側からこの数年上記施策を推進するための基礎技術解説をする場面が数回あった。そうした場面できかに、特定用途だけ、単独企業だけでは課題を克服していくことが難しいかを聞くことが出来た。物はそれを量産するという立場にたたないと明確にならない技術課題は多くあるものである。小型・軽量・多機能な電子デバイスを世界に先駆けて開発し、生産してきた日本の特徴を伸ばすことは日本の将来にとってきわめて重要であると考えます。
5048	大学・ 公的研究 機関 (独 法・公 設試 等)	30～ 39歳	文部 科学 省	24141	特別研究員 事業	このまま 推進す べき	重要な施策であり、増額して推進すべき。 将来を担う優れた若手研究者が、経済的な不安を感じることなく研究に専念し、その能力を飛躍的に向上させるための支援が日本の研究レベルの向上に繋がるため。
5049	大学・ 公的研究 機関 (独 法・公 設試 等)	30～ 39歳	文部 科学 省	24133	科学研究費 補助金	このまま 推進す べき	基盤研究C、若手研究ABの拡充に賛成 大学では国からの運営費交付金削減や、少子化による受験料・授業料収入の減少が進み、結果的に若手研究者の活躍の機会が奪われている。有能な若手研究者に研究の機会を与えるためにも若手研究ABや基盤研究Cの拡充は、将来の日本の科学の発展に必要な施策であると思われる。
	大学・						2008年の小林益川両氏のノーベル物理学賞を決定づける重要な実験結果を導き出した、日本の誇る素粒子実験施設Bファクトリー。 その役割はさらなる理論の精密化およびその理論を超えるかもしれない新しい物理モデルを探ることになるBファクトリーのアップグレード 日本の基礎物理学分野において非常に重要な拠点でありプロジェクト

5050	公的研究機関 (独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24138	Bファクトリー加速器の高度化による新しい物理法則の探求	このまま推進すべき	である。 自然科学の究極のテーマを追求する実験としてはもとより、このような最先端の実験に若い研究者が参加することにより、今後の日本の科学をになっていく人材が養われる。	は素粒子物理プログラムのなかでもっとも世界的に見て重要なプロジェクトの一つである。日本にその基幹的な施設があることは基礎物理の分野で世界をリードするために必須であり、またそこに若い研究者が携わることで研究分野だけでなく、民間にでたときにもその貴重な経験をもとに異なった研究開発においても重要な貢献をしてくれる人材を育成されることは間違いない。
5051	大学・公的研究機関 (独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24143	大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム	改善・見直しをした上で推進すべき	重要な施策であり、推進すべき。間接経費も措置すべき。	我が国の国際競争力を確保し、優れた研究者等を養成していくため、我が国の大学院の教育力・研究力を、当該学問分野に強みを持つ専攻等を対象に、重点的に強化する必要があるため。
5052	民間企業	40～49歳	総務省	20102	超高速光エッジノード技術の研究開発	このまま推進すべき	光通信産業こそこれからの日本の成長産業です。	日本の光ファイバーサービスは、世界のトップクラスです。この水準・地位を維持することは、日本の国際競争力を考えると大変重要なことです。
5053	大学・公的研究機関 (独法・公設試等)	40～49歳	文部科学省	24119	ナショナルバイオリソースプロジェクト	このまま推進すべき	ナショナルバイオリソース事業は、我が国の将来にとって欠かせないものである。是非、継続すべきである。	現在、本ナショナルバイオリソース事業は、世界でも貴重な存在となっている。世界中の研究者にとって貴重な共通財産である。
5054	大学・公的研究機関 (独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24140	RIBFファクトリー計画の推進	このまま推進すべき	最先端の加速器を用いた基礎科学研究をより発展させて欲しい	世界水準の研究施設の維持、発展は、これから研究者になろうとする我々にとって大きな希望であり、目標となります。将来、基礎科学の研究に身を投じ、生涯を捧げる我々の為にも、日本には是非、世界をリードする日本であって欲しいと思っています。
								RIBFは世界に先駆けて建設、稼働を始めた核

5055	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24140	RIビームファクトリー計画の推進	このまま推進すべき	RIBFでの原子核物理の基礎研究は日本が世界に誇れる最先端の研究計画のひとつである。この研究の継続及び発展が以前にもまして必要である。基礎研究において、一旦これまで築かれた研究水準が失われると、取り戻すのできる可能性は皆無に近いため、なによりも現在の世界最高水準の研究レベルを維持、発展することが望まれる。	物理の加速器研究施設である。世界的にもこれからの原子核物理分野を日本が先導していく義務と期待が寄せられている。また、学問の先端分野の一つである原子核物理などの基礎研究の発展なくして日本という国やそれを担う若い人々への教育、文化水準の存続はないと断言できる。もちろん日本だけでなく人類がこれから向かう先を切り開いていけるのも、原子核研究のような基礎研究であることに疑問の余地はない。
5056	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24138	Bファクトリー加速器の高度化による新しい物理法則の探求	このまま推進すべき	B factory 実験では高いルミノシティによって、物質生成の謎を解き明かす可能性が高まっており、ぜひ積極的に推進していただきたい。	海外に類似の提案はあるものの、日本の技術で行うことがもっとも確実であるから。
5057	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24005	橋渡し研究加速ネットワークプログラム	このまま推進すべき	「橋渡し研究加速ネットワークプログラム」は革新的な医薬品・医療機器の開発を促進し、ライフ・イノベーションの推進に大きく貢献すると期待されるために、本施策をこのまま推進すべきであると考え。	これまでに整備された橋渡し研究拠点では、各大学の研究成果の開発に携わり、その成功例を出すことで、基礎研究成果の社会還元を促進するノウハウを獲得してきた。しかし、各大病院では資金難による人材不足のため、開発の遅れや地方大学等が有する有望な研究成果が支援できない等の問題点を抱え、基礎研究成果を早く国民へ還元するシステムの確立は、道半ばである。ネットワーク化を目指した拠点の拡充は、開発促進や多くの革新的シーズの発掘を生み、ライフ・イノベーションの推進に貢献すると期待される。
5058	民間企業	20～29歳	文部科学省	24125	免疫・アレルギー科学総合研究事業	このまま推進すべき	アレルギーを解決してほしい。	小さい頃から卵アレルギーで、普段の食事でもかなり苦労している。アレルギーが治れば世界が変わると思うので、治療につながる研究を

							進めてほしい。
5059	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24149	国立大学法人等施設の整備	このまま推進すべき	重要な施策であり、推進すべき。 国立大学の施設は多くが老朽化しており、また、新しい研究分野を中心に相当程度スペースが不足しているため。
5060	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24178	大型放射光施設(SPring-8)	このまま推進すべき	SPring-8 は日本の最先端大型加速器施設の中でも、とくに応用科学に役立っている拠点です。JAXAのはやぶさの持ち帰った微粒子をここで分析するというニュースを聞いたが、海外でないとできないのではなく国内で行えるということは、日本の科学力の証明でもある。ペンタクォークの発見も高いエネルギーの光子をつかえるここならではの成果だろう。基礎科学から応用まで多様な研究の中にこそ次へ繋がるものが生まれると思います。
5061	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	日本人の性向として、全員が右へ倣えの行動をとるところがある。人類社会の発展のために、「命」「環境」が重要であることは重々理解できるが、すべての研究が、明示的にこれらと関わるように振舞わされ、次なる研究への仕込が不十分になる恐れを感じる。将来にわたり日本の存在あるいは存在感を感じさせるためには、アトランダムに自由な発想の下に実施される、遊びに近い研究を積極的に支援して「多様性」を涵養し、その中からタイムリーな成果を重点的に支援することが絶対に必要である。そこで、重点政策とは別に、科学研究費の多くを割くことが長い目で見て、日本を支えることになると考える。

5062	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設(J-PARC)	このまま推進すべき	最先端の加速器を用いた基礎科学研究をより発展させて欲しい	世界水準の研究施設の維持、発展は、これから研究者になろうとする我々にとって大きな希望であり、目標となります。将来、基礎科学の研究に身を投じ、生涯を捧げる我々の為にも、日本には是非、世界をリードする日本であって欲しいと思っています。
5063	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	基礎研究の重要性に鑑み、科学研究費補助金予算の更なる充実が必要である。	日本の科学技術の発展を支えてきたのは大学や研究機関における基礎研究であり、これからの日本の成長の鍵を握っているのは、これら大学や研究機関における基礎研究の推進である。このような基礎研究の重要性に鑑み、科学研究費補助金予算の更なる充実が必要である。
5064	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24174	革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ(HPCI)の構築	このまま推進すべき	一層推進すべき。	高性能計算機による研究は多くの分野を推進してきた基盤である。計算機によってしか成し得ない研究課題も多くありえる。また、創薬分野など、国民の生活に直結したのもあり、一層の推進が望ましいと考える。
5065	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24190	科学技術振興調整費	改善・見直しをした上で推進すべき	重要な施策であり、推進すべき。	重要な研究費であるが、事務手続きの簡素化が必要である。
5066	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24178	大型放射光施設(SPring-8)	このまま推進すべき	最先端の加速器を用いた基礎科学研究をより発展させて欲しい	世界水準の研究施設の維持、発展は、これから研究者になろうとする我々にとって大きな希望であり、目標となります。将来、基礎科学の研究に身を投じ、生涯を捧げる我々の為にも、日本には是非、世界をリードする日本であって欲しいと思っています。

5067	民間企業	40～49歳	総務省	20110	・フットニクネットワーク技術に関する研究開発	このまま推進すべき	光通信産業こそこれからの日本の成長産業です。	光通信産業はこれからの21世紀の日本で最も成長が見込める最も重要なグリーンIT産業だからです。
5068	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	我が国の学術、文化、人材育成の根幹を成す事業であり、断固推進すべきである。多様な研究分野をカバーし、研究者の自主的な活動を支援する事業として、我が国の文化の基盤を支えるためにも、このまま推進するのは当然として、現状以上に発展させるべきである。	過去における大学等の経常経費削減の中で、資源の再配分という性格とも位置づけられていたので、それをなくすことは大学などの存在を認めないことになる。基礎科学分野ではこれ以外に財源のない分野も多く、この推進無しには裾野の広い学術・文化の発展はありえない。
5069	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24161	ITER計画(「建設段階」等の推進)	このまま推進すべき	核融合研究は人類究極のエネルギー源確保のための息の長い研究であり、継続的な推進が求められる。	これまで核融合研究には時間がかかりすぎる、実用化の目処が立たない、等の批判もあったが、ITER計画にいたって、世界の研究者の長年の努力が実を結びつつある。核融合の現実性を確認し、世界をリードしてきた日本の地位をさらに向上させるためにも、積極的な推進が求められる。
5070	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	研究者の自由な発想の下、研究に取り組むために必要な予算であることから、拡充すべき。	民間等の研究費の場合、テーマが固定されており、基礎的研究、新分野の研究には使いづらいため。
5071	民間企業	40～49歳	文部科学省	24169	我が国の宇宙技術の世界展開－最先端宇宙科学・技術と人材育成をセットにした新たな海外展開戦略－	このまま推進すべき	我が国の宇宙産業の技術力の高さを海外にアピールするために、国際的な枠組みを活用した人材育成、技術協力などによる宇宙新興国への宇宙システム利用の礎を構築し、我が国の宇宙システムの海外展開を加速させるべきである。	宇宙システムの利用は、防災、環境監視、国土管理、資源管理などの多分野に及び特に地上インフラの整備が進んでいない国にとって、宇宙システムの利用は効果的・効率的であるが、我が国は高い技術力を有している割には海外展開が進んでいないため、我が国の宇宙システムの海外展開を加速させるためにも必要な施策と考えるため。
							着実に推進すべきで	

5072	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設(J-PARC)	このまま推進すべき	す。主リングのアップグレード等、J-PARCの能力を最大限に生かすための予算を早急につけていただきたい。また、運転費用を十分に与えていただき、加速器運転期間を長くできるようにしていただきたい。	J-PARCは世界最高の加速器の一つであり、国内外の研究者、学生が多数集まっている。多くの魅力的な実験が提案されており、これから当分野で世界をリードして行く拠点である。
5073	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	科学研究費補助金は、基盤整備としての科学技術を発展させる上で、また多様な研究者を育てる上で、また知的財産の発掘の上で重要な事業である。ただし、重点化すべき分野があるもの確かである。すなわち、日本かつ世界の問題である、環境、燃料、健康の3つの分野には重点的に配分すべきである。なかでも、癌研究に対する国家的なプロジェクトが途切れたのは大問題である。国民全てが健康に感心のある中で、また若くして家族を残してなくなる癌患者のことを考えれば、最も優先すべき課題である。国民の福祉の上では医科学の発展の為に、特に研究支援を求め	日本は資源の少ない国家であるから、科学技術の分野で生き残るしかない。そのために、様々な成果をあげてきたこの補助金を決して削ってはならない。ノーベル賞を受賞した日本の科学者たちが、この研究費にどれだけ助けられたかを考えれば、自明のことである。日本の生命科学研究への国家的な支援金額は増えつつあるが、あまりにも少数の科学者に配分すると、確かにその科学者は成果を挙げられるかもしれない。しかし一方で新たな芽を出しつつある成果に対しては十分配分されなくなる。分野全体に水や肥料を与えることこそ、多くのチャンスを生むきっかけとなる。
5074	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24138	Bファクトリー加速器の高度化による新しい物理法則の探求	このまま推進すべき	KEKBの高度化を進めてほしい。これによって日本が素粒子物理学の分野で世界をリードしていくことができ、日本を研究拠点とする海外の研究者が増えると考えられる。これは、日本の素粒子物理学の分野の質を向上させ、ひいては学生や若手研究者の質を向上させることにつながる。	素粒子物理学の組織の特徴として、国際的、平等、流動性の実現していることが挙げられる。つまり、素粒子物理学は国際性に富み、自発的かつ、セクショナリズムを打破していくことができる、日本を元気づけることができる人材を育てることに貢献している。基礎科学分野の発展という理由を除いても、投資するに十分値する。
							情報伝達の手法として人類は言語を開発した	私は心臓外科医である。心臓の手術を他の専門家医師に対し3Dハイビジョン画像で同時中継し、あるいは記録映像を供覧した。これによって現場の手術の経験

5075	その他	50～59歳	総務省	20109	革新的な3次元映像技術による超臨場感コミュニケーション技術の研究開発	このまま推進すべき	<p>がヴァイトゲンシュタインの言葉を借りるまでもなく、論理記号としても限界を有するばかりでなく、その多様さは今後も人類という生物種の特長として維持され、統一に抗うエネルギーを失わないだろう。しかし映像情報は違う。ミスター・ビーンの無声コメディがハリウッド以外の全世界で受け入れられたように、その意味するところは論理記号の領域をはるかに超えるものである。さらに3Dによる映像は、これまでのあらゆる形式の意匠の表現手段をはるかに越えるもので、情動をも伝播させ、「五感による情報伝達と言う、ロゴスの平面に繋がれた古めかしい言葉では言い表せない、元来頭蓋骨に隔絶されていた個々の人間脳がトータルで外世界と新たなつながりを持つ手段と言うべきもので、国是的技術に他ならない。</p>	<p>が他の多くの専門家と臨場感をもって優れて共有できたのであるが、新たな発見を見た。3D画像とは、自分の肉眼をもって眼下に広がる日常経験している手術野よりはるかに鮮明な、いやそうといった表現を超えたところの、まさに超臨場感なる稚拙な言葉でとりあえず表現するしかない、別世界なのである。例えば、3D画像では現実には見えないものがしっかりと見えている。人間の目や脳の修正を受け付けない、あるいは現実世界が我々に隠して見えなくしているものを赤裸々に見せ付ける世界である。この技術は利用の仕方によっては人類社会を変えてしまうエネルギーがあるに違いない。蛇足であるが、技術立国というスローガンはいかにも間が抜けている。技術開発のオタク世界にとどまらず、独自の技術を世界人類に利用させる、技術戦略国家を日本は目指して欲しい。ちなみ戦略とは「戦いを避ける知恵」を言う。</p>
5076	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	<p>この予算は大学などに於いて、研究を進めるための基礎資金となっている。日本の財政状態では運営費交付金ですべての大学の研究費をまかなうわけにはいかず、教育面のみという状態である。よって、科研費を減らすと大学などでの基礎研究が衰退することになる。資源のない日本にとって、基礎研究を土台とする高度な科学技術なくしては、将来国がつぶれることは目に見えている。是非とも科研費を増加させるべきである。</p>	<p>日本という国の性質を考えれば、基礎研究なくして国が成り立たなくなることは上に述べた通りである。そのためには絶え間ない資金が必要である。例えば、基本的なことであるが、実験室に真空状態を作ろうとして真空ポンプを購入することを考えてみる。実はポンプこれだけですぐに数百万という額になる。どんな基礎的なことにせよ科学の研究には非常に資金がかかるのである。科研費の重要性が理解いただけるであろう。</p>

5077	民間企業	30～39歳	経済産業省	27018	次世代照明等の実現に向けた窒化物半導体等基盤技術開発	このまま推進すべき	本テーマには資源投入すべきである。	科学技術は進歩しているのに、電球、蛍光灯は生まれてからこの方変化がない。照明は生活に密着した製品であり新たな技術は夢を与えてくれる。エコでもあるし、半導体、材料分野は日本のお家芸であるので我が国の存在感を示してほしいと思います。
5078	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24126	ゲノム医科学研究事業	このまま推進すべき	ゲノム医科学は、ここ10年でも急速に進歩してきました。その理由は、ソフト面、ハード面、色々あるとは思いますが、この進歩の流れを推進することはあっても、抑制するのはよろしくないと思います。これまで、特に日本では医学教育にもほとんど取り入れられておらず、関心、興味を持たれていなかった分野が、ようやく日の目を見てきたところです。欧米をはじめ、中国を筆頭としたアジア各国の急速な進歩や医療を受ける側(患者側)からの要望などに刺激され、遅ればせながら我が国のゲノム医科学研究も活性化されています。しかし、まだまだ十分とは言えず、諸外国の勢いに押されていると思います。政策上の支援なくしては、せっかくともった灯もまた、消えてしまいます。	必ずしも、諸外国との競争に勝つことがゴールではありませんが、今後も国民の(あるいは世界の人々の)健康に資するような価値ある研究や成果をあげていくためには、ある程度のプライオリティーやイニシアチブを取って、その分野における発言権を確保していくことが重要ではないでしょうか。政策上でも支援があれば、十分に可能な能力を持っていると思います。どこかの国の誰かさんが何か良い発見をしてくれて、それを我が国でも流用させて頂くのを待つだけではだめだと思います。我が国発で世界に役立てるような情報を発信してもよいし、また、疾患感受性や薬剤効果にも人種差が言われており、日本人特有のものについては、やはり我が国で研究を進めるべきだと思います。将来の医療、国民の健康を大きく左右する重要な分野です。よろしく申し上げます。
5079	公益法人	30～39歳	文部科学省	24119	ナショナルバイオリソースプロジェクト	このまま推進すべき	リソースプロジェクトは我が国日本の研究を支えるのみならず、他国を含む人類の発展に寄与する重要な事業であることは間違いありません。継続して推進すべきだと思います。	このプロジェクトは書物の保存と似ています。理由は過去の偉人達が創りだした、もしくは収集したリソースを現在と未来の研究のために公的に保管するからです。本プロジェクトは図書館運営のように継続

								してこそ意味があります。
5080	民間企業	40～49歳	経済産業省	27130	水素先端科学基礎研究事業	改善・見直しをした上で推進すべき	金属材料の水素脆化メカニズムの解明については適正に進展している。今後は、より実用化に直結した戦略的基礎研究(国際標準、材料相互認証につながるデータベース構築等)にテーマ設定・資源投入をシフトするべきである。	2015年の普及開始に向けて、安全性を担保しつつ高圧ガスに関する法規・基準の適正化が不可欠である
5081	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24138	Bファクトリー加速器の高度化による新しい物理法則の探求	このまま推進すべき	私の専門分野において、今後支援すべき研究設備は高エネルギー加速器研究機構が有するKEKBだと考えています。KEKBは世界最高の積分ルミノシティを誇るレプトンコライダーであり、小林、益川両氏のノーベル賞受賞に大いに貢献したことも記憶に新しいかと思えます。このように、既に大きな実績を上げているKEKBは、現在、更なるアップグレードへ向けて準備が始まっています。このアップグレードにより、人的、経済的にも国際的な交流が深まり、我が国の更なる発展に大きく貢献するものと思えます。	これからの日本の先端研究の発展は、国際協力なしに考えることはできません。国際交流の深化を図り、国際的な頭脳循環が不可欠です。そういった状況の中で、KEKBは世界最高水準の研究であり、日本中のみならず、世界中から将来性のある人材が集まってきます。国内にこのような世界に誇れる拠点があることは、この国の発展につながるかと思えます。日本がこういった基礎科学で世界最高水準を維持することは、国民の教育、文化レベルと活力を高め、技術革新や産業の創出につながり、長期的な日本の発展に寄与するはずで
5082	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24149	国立大学法人等施設の整備	このまま推進すべき	更なる予算措置が必要である。	国立大学が法人化された平成16年度以降は、耐震やアスベスト対策などの施設整備が優先されてきた。しかし、未だに危険度が改善されていない施設が多く存在しており、教育研究の大きな障害となっているため、更なる予算措置が必要である。さらに、老朽・狭隘施設も数多く存在しているため、これらの施設を改修し教育研究の充実を図っていく必要がある。
							難易度が高い膜タンパ	無償で配布されているプログラムの多くは、使い勝手が悪かったり、継続的な開発がなされ

5083	民間企業	20～29歳	経済産業省	27149	創薬加速プログラム	このまま推進すべき	ク質の構造解析、および構造解析技術の開発、in silico創薬に用いるプログラムの開発など、一企業では着手することは困難であると考えられる。それら困難な課題に対して積極的に取り組み、得られた成果を無償で配布していることは、創薬活動を進めるにあたり非常に有益な活動であると考えられる。	なかったり、「安かろう悪かろう」というものが多いように思われる。しかし、このプロジェクトで開発されたin silico創薬プログラム「myPresto」は、これまでに無かったユニークな発想に基づいて設計されており、公開後もバグフィックスや、定期的なバージョンアップなど、意欲的に研究開発が進められている。今後も、更なる機能向上が期待できるため、継続的な活動が望まれる。
5084	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24140	RIビームファクトリー計画の推進	推進すべきではない	すでに基礎物理の分野において、ただの博物学と化しておりこの分野での新しい物理的な知見は得られないので推進すべきでない。	基礎物理においては、博物学と化した分野はすでにほとんど意味を成さない。RIビームファクトリー計画はこれまで研究されつくされた原子核物理を中性子過剰核で行うだけでありそこには新しい物理が見いだせないことは明らかである。さらに宇宙の元素合成をキーワードとして歌っているがそのキーポイントとなる実験は何であるかまったく施設としてのコンセンサスはなく、簡単に作れるような原子核で従来の手法で実験を行っているだけである。基本的に新たな研究開発を行う姿勢がないので人材育成にもならない。したがって推進すべきではないと言える。
5085	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24189	学術国際交流事業科学研究費補助金	このまま推進すべき	世界の中での日本の活動を高め、ビジビリティを増す事業であり、ますます充実させる必要がある。主要国から地理的に離れているために、実力を認めさせるにはそれなりの努力が必要で、本事業はそのための必須のものである。世界を相手にやっつけける者を精査しつつ、振興すべきである。	国際交流を目的にした活動は基盤的で、広範な活動ではあるが、特定の具体的な目標がある訳ではない、などの理由により通常の研究費と同じ尺度で測ることは難しい。そこで、このような独自の制度を設ける必要がある。
							RIビームファクトリーは	

5086	大学・公的研究機関 (独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24140	RIビームファクトリー計画の推進	このまま推進すべき	<p>現在も建設中の研究施設であり、その一方で多くの未知の原子核を発見という成果も同時にあげているプロジェクトである。この成果は現存する施設ではRIビームファクトリーでしか成し得ないものであり、今後とも建設を進めることで今以上の更なる研究成果を発展させられると容易に期待できる。しかしながら近年の財源不足により、施設を運用できる時間が1年のうち5ヶ月にも満たないようで、この時間の制限が研究の妨げになっていることは明らかである。よって潤滑な研究発展のためには今以上の財源がRIビームファクトリー計画には必要であり、計画は推進すべきである。</p>	<p>施設の建設に500億円もかけたにもかかわらず、十分な成果も挙げられないまま建設途中で計画を見直すというような暴挙は血税の無駄遣いといえよう。本計画は既に世界初の成果も挙げており、ここで計画を止めるべきではない。現政権の民主党というのは、かの惑星探査機「はやぶさ」において、既に世界初の成果も上げている中で予算縮小を決定しており、地球帰還後ではその決定を覆すと言う、何の哲学も無いパフォーマンスの「仕分け劇場」しかできず、その浮いた財源は他国へばら撒くというナンセンスの塊である。「仕分け作業」を仕分けしてから、本計画の推進の有無を考えるべきである。</p>
5087	大学・公的研究機関 (独法・公設試等)	40～49歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	<p>研究者の研究活動を支援する重要な制度であり、着実な予算確保が必要と思われます。</p>	<p>新しい研究の芽を育てるためには、採択率を上げて、多くの研究者を支援する必要があると思います。</p>
5088	大学・公的研究機関 (独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24143	グローバルCOEプログラム	改善・見直しをした上で推進すべき	<p>今後更なるプログラムの推進を望みます</p>	<p>これから研究者を目指し、世界をリードする日本を作っていかなければならない我々にとって、このような支援プログラムは、非常に意義のあるものです。研究に専念し、いち早く最先端の世界に身を投じる為に、このような支援プログラムの推進を望みます。</p>
5089	大学・公的研究機関 (独法・公設試)	30～39歳	文部科学省	24140	RIビームファクトリー計画の推進	このまま推進すべき	<p>先端加速器による基礎科学を進めるべく、RIビームファクトリー計画の推進を行なってほしい。またJ-PARCの推進やKEKBの高度化も同様</p>	<p>RIビームファクトリーの加速器は世界最高性能を誇り、世界の研究者から待望されているものである。また日本の科学者はこぞってこの施設を利用したいと思っており、そのような研究計画を実行に移す機会を待ち望んでいる。こ</p>

	等)						に期待する。	の計画を一層推進することで、確実に日本が当分野で世界をリードすることができる。
5090	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24008	テニュアトラック普及・定着事業	改善・見直しをした上で推進すべき	<p>テニュア及びテニュアトラックの person 費をこの予算で包括的に確保するべきである。</p> <p>また研究費はテニュア、テニュアトラックといえども通常の教員と同じ方法で取得するようにした方が良い。</p> <p>主に科研費などで。また、テニュアトラックを単なる任期付ポストにするような大学を排除してほしい。テニュアへの昇格基準に恣意が入らないようにするべき。</p>	<p>元々研究は研究者本人が誰にも縛られずに自由に選択し、行うべきものであり、社会還元はその中の偶発的産物であることが多い。イノベーションを期待するならば、現状のように若手の研究テーマを縛るようなポストの制度や教授のゴーストライターを強制するような密室環境を作るべきではないし、テニュアポストを得るような人は、大学の経営状態に縛られるべきではない。それなりの成果をだした優秀な研究者は国が保護するなどし、その人の更なるアウトプットを期待するべきである。現状の研究費＋事務員程度のサポートではテニュアトラック制度は定着しないだろう。</p>
5091	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	<p>科学研究費補助金は、日本の学術、特に、理系の学術研究の発展を支える主要な国家予算である。国立大学の運営交付金などが基盤経費が学術の基礎体力を形成するための経費とするなら、科研費は、学術の全分野で競技能力を伸張させるための経費である。ピアレビューに基づくシステムは、透明かつ公正であるばかりでなく、優れた学術を展開する上で非常に有効なシステムである。これを採用している科研費を拡充することがわが国の発展のために極めて重要である。是非、拡充して推進すべきである。</p>	<p>現在、大学等では基盤経費だけでは研究が展開できないほど基盤経費が脆弱化しているなか、科研費が研究経費の生命線となっている。科研費の総額は過去20年間増額を続けているが、上記状況をみると今後もさらに増額をつづける必要がある。</p>
							審査の過程において、	素粒子、原子核、宇宙の枠組みでは結局、共通テーマである宇宙に

5092	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	改善・見直しをした上で推進すべき	異なる分野からの意見が強すぎるのではないかと。各分野においては、世界的に重要とコンセンサスが得られているテーマでも研究費が下りないのは納得できないことが多々ある。審査方法を大幅に見直すことも考慮してほしい。	絡めたテーマが重点的に採択されており、その他のテーマは額の小さいものしか配分されない。 ** 意見と理由は、大体内容が被る気がします。。あえてこの二つを別個に書かせようとした意図が分からない。
5093	その他	40～49歳	経済産業省	27005	グリーン・サステイナブルケミカルプロセス基盤技術開発	このまま推進すべき	このまま推進すべきと思う。ヒアリング資料を見ましたが、目標、重要性、体制、成果など、妥当に思いました。	石油やプラスチックはいつかなくなるのだから、次の燃料や材料を準備しておかなければならない。環境立国を世界に宣言している日本がお金を出して研究を進めるのは当然の責任と思う。例えば税金を使っても、まず日本が持続しなければ、社会も家庭も個人も持続できないと思う。
5094	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	60歳～	文部科学省	24001	大学発グリーン・イノベーション創出事業	このまま推進すべき	人財の育成がもっとも大事であり、この部分を明確に強化すべきである。この際に研究をしながら実践的に育成する考え方は中途半端であり、人材育成に特化したプログラムが必要である。	大学が有する広範なポテンシャルを総合的に活用することにより、グリーン・イノベーションによる我が国の成長に不可欠な人材育成、研究開発、新技術の実証及び技術の国際展開のための体制と活動を強化する。
5095	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24162	原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ	このまま推進すべき	我が国の国力を高めるために推進すべきである。	外国の意向に左右されない国家になるために必要なエネルギー安全保障にとって必要である。
	大学・公的						業務過多の教員が多く、何かしらの分業は必要だと思います。また、研究室間の連携や、研究サイドと事務サイドの意思疎通など、改善が必要です。それらの点において、この新しい試みには大変期待しています。一方、そもそも大学教員や研究者の本分は何なのか、という深い問	大学事務には研究の実際についての理解が不十分ですし、逆に制度の理解が足りない研究者も多いのではないかと思います。また、研究室間においても、しばしば相互理解の不足が存在するように思います。これらの間の橋渡しが

5096	研究機関 (独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24011	リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備	このまま推進すべき	題に関わる上、大学事務や秘書といった既存システムとの役割分担の設定は容易で無い様にも思います。個人的には、研究者/企業/官公庁/大学事務などとも柔軟に行き来(もしくは兼任)できるような制度の実現が理想と思いますが、リサーチアドミニストレーターの役割自体も必ずしも固定化して考える必要は無いと思いますし、これから先のオープンで真剣な議論を期待します。	出来る人材を育成し、活用していくことは、科学の発展という点でも、個々人の幸せという意味においても、大変望ましいのではないかと思います。その一方で、多様な研究者や事務方と十分渡り合えるような人材が確保/育成出来るのか、意見の対立が起きた場合はどうするのか、など、やや不安を感じる面もあります。
5097	大学・公的研究機関 (独法・公設等)	50～59歳	厚生労働省	25101	先端的基盤開発研究(創薬基盤推進研究)	このまま推進すべき	健康大国日本を目指すためには、画期的な治療法開発や創薬を強力に推進する必要がある、そのための基盤的な研究や、研究に用いられる病気のモデル動物などの研究資源のインフラ整備を国として積極的に行うべきで、本施策を最優先で実施すべきである。本施策により我が国の創薬基盤を大いに推進し、国民の健康増進を目指すとともに、創薬を中心とした科学技術立国の基盤をしっかりとすべきである。	創薬には、基礎研究から実際の薬の認可までに莫大な時間と経費が必要であるが、とくに難病などの希少疾病の研究は、患者さんが少ないことから、モデル動物の開発など基礎から長期的に行う必要がある。あらゆる国民の健康を目指し、創薬研究を基盤から支え、科学技術立国を目指すためには、その基盤となる技術開発やモデル動物など研究資源整備を、国として長期的安定的に積極的に支援する必要がある。本施策は最優先で実施すべきである。
5098	大学・公的研究機関 (独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設(J-PARC)	このまま推進すべき	大強度陽子加速器施設J-PARCの稼働と充実、および施設で展開される実験計画を積極的に進めるべきである。J-PARCは世界の既存の加速器を一桁上回るビームパワーを持つ、わが国の科学技術の粋が詰まった研究施設である。また行われる研究の分野も多岐に渡り、基礎科学および産業・技術のレベルが広範囲で飛躍的に向上する。世界最高性能の装置を用いれば世界に先んじた成果が得られること	J-PARCは世界最高性能を持つ陽子加速器であり、そこで行われる研究は多岐に渡る。素粒子・原子核、物性物理、新素材、生命現象、核変換技術などである。2008年に日本人4人(南部先生は米国国籍だが)がノーベル賞を受賞したことは記憶に新しい。日本の基礎科学を高水準に保つためには国を挙げて科学界を盛り上げていかなければならない。未来の世界はより困難な状況にな

						は道理である。J-PARCを国を挙げて推進することで得られる長期的な国益は大きく、またJ-PARCが世界にもたらす刺激により、人類全体の智慧はより一層深くなるであろう。	るだろうが、勇気と智慧で切り拓いていくためにもこのようなスケールの大きな計画を全力で進めていくことが重要である。	
5099	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	40～49歳	総務省	20108	ICTグリーンイノベーション推進事業	このまま推進すべき	ICTを活用したCO2削減技術の研究開発を推進すべき。	わが国はCO2削減技術に定評があるところだが、個々の削減技術を組み合わせるだけではその効果は限定される。経済的合理性を担保するとともに多様な削減技術の統合と相乗効果をあげるにはICTによるシステム全体の制御・管理が必要であり、それを確立する本事業は、我が国の将来において重要となる。
						若手が内向き志向であることが事業立ち上げの発端と書かれているが、その原因を追求せず安直に渡航資金を国税で出して送り出すという政策には反対である。内向き志向の原因に関しては私なりの分析をこの次の欄で述べる。	若手が内向き志向であることの理由の追求がされていないが、原因として以下のような視点が考えられるのではないか。	
						持参金を下げて数ヶ月の間外国の研究所に滞在しても最後まで「お客」であり、短期間では実りある研究成果を期待できるのかも疑問である。	1.文科省主導によるポスドク1万人計画の達成、昨今の競争的資金でのポスドク雇用推奨により国内のポスドク職のポストが大幅に増えていることがあげられる。つまり、無理に海外にポスドク職を探さなくても本人が満足できる日本国内での環境を文部科学省が提供している。まさに、自分でちやぶ台をひっくり返して、それを掃除するために新たに金を要求するという信じられないが、文科省の政策ではよくあるパターンである。	
						敢えて本制度の趣旨説明にも書かれているような武者修行をと思い立ち、自ら海外のポスドク職の公募に応募し、先方での資金でポストを得ている人々に対して大変失礼な政策である。海外ポスドク職を得るには、英語で研究計画書を作成し、国内ポスドク職に比べ比較的多い3通の推薦状を用意し応募するため応募者本人の負担は非常に	また、私の経験では国内拠点を捨てて海外に出ると以下のようなデメ	

5100	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24014	頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣事業	推進すべきではない	<p>大きい。また、外国とのコネクションのために事前に本人が国際会議などで積極的に外国人研究者と接触している者も多い。本来サポートすべきなのは、事業の趣旨からいって自ら積極的に外国でポスト職を得て頑張っている、あるいはそのような経験を持った若手人材ではないだろうか。そのような人材が日本のポストへ戻ってきやすくする事へのサポートに関する事業であれば推進を求めたいが現状では全く逆センスであり事業提案を却下しなければならないと考える。外国での経験を重視するならば、例えば外国で学位を取得あるいは外国の資金でポスト在任中あるいは経験のあるものを優遇するパーマナントポストの公募などを制度化し行えば、若手は外国に自ら進出するのではないか。この政策はプライスレスである。</p> <p>文科省の事業には、大学院の進学者数が減ってきたので、大学院生向けのサポートを増やすなど原因の追求を無視し、金を目の前にぶらさげる事によって解決を図るような事業の要求が乱発しており、文科省の政策立案のレベルの低さが如実に現れているのには毎回驚かされる。原因の現実的理由を見出すことを放棄し、自らの失策を穴埋めするための新たな事業立ち上げで予算を肥大化させる作戦は慎むべきである。失政による被害は、事業対象者の若手のみならず、事業にかかるコストを払う納税者</p>	<p>リットがあると感じている。あるいは実しやかに若手の間で噂が出回っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.日本での学会発表の機会が減ることや、日本とのコネクションが無くなる事によって日本のアカデミックポジション取得に不利になるのではないかという不安。 2.外国から日本のアカデミックポジションに応募した際に外国から面接に呼ぶと応募者の負担が大きいため面接候補者とするのを避けようと思われる不安。あるいは、面接に呼ばれた際に旅費が全額応募者の負担であるために国内PDをやっている場合に比べて経済的負担が大きすぎる点。直前に知らされた日程に合わせるために正規運賃に近い航空券の購入は非常に大きな負担である。 3.昨今、日本では特任、特定、特別なんとかという競争的資金による不安定ポストが乱立しているが、外国PDを経験した後に日本国内でそのようなポストを得た場合に赴任手当が出ないことによる国際引越、航空運賃の経済的負担。これは日本国内からの移動でも大きな負担である(定員枠の正規ポストでは赴任手当は出る)。家族を持っているものならなおさらである。なぜか、外国から外国人を呼ぶとポストであつても手厚い赴任手当が支給される日本人に対する差別も存在する。日本の若手には金を出せないという悲しい文科省の姿勢。
------	-------------------	--------	-------	-------	-------------------------	-----------	---	---

							に対する裏切り、更には日本の将来に対する有形無形の損失である。	
5101	大学・公的研究機関（独法・公設試等）	50～59歳	文部科学省	24154	研究者の養成（海外特別研究員、若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム）	改善・見直しをした上で推進すべき	若手研究員に限らず年齢を重ねた者にも支援をお願いしたい。	研究者および指導者は研究室以外における多くの経験を必要としている。多くの経験を実社会で積みその上で学問に向き合おうとしている社会人学生にもチャンスを与えることも大切である。
5102	大学・公的研究機関（独法・公設試等）	50～59歳	文部科学省	24168	国際宇宙ステーション計画	その他	この計画は効果が判然とせず、年間数百億円の国費投入の意義が見えない。諸外国の中で日本が取り残されないだけの適度な予算規模を設定する必要がある。	今後、実用化に結びつくとも思えない。「宇宙」飛行士がテレビ出演しているだけである。また、「宇宙」という用語の使い方にも注意すべきである。英語ではspace stationであり、大気圏外空間という意味である。「宇宙」という用語で一般大衆を誘導すべきではない。
5103	大学・公的研究機関（独法・公設試等）	40～49歳	文部科学省	24122	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ	このまま推進すべき	生命科学分野の科学技術進展の重要性は疑う余地もない。国家戦略として将来にわたり積極的に推進すべき施策である。	生命科学分野の研究、技術開発の発展は医学、薬学、環境問題など大きな波及効果が期待されるが、同分野で革新的な研究成果をあげるためには多くの研究者が恩恵を得られる研究基盤の整備が重要と思われる。そのために本施策の様な国をあげた支援が必須であり、積極的に予算を投資すべき施策である。
5104	大学・公的研究機関（独法・公設試等）	40～49歳	文部科学省	24140	RIビームファクトリー計画の推進	このまま推進すべき	放射性同位元素を用いた基礎研究である。これらは宇宙の成り立ちを解明する上で鍵となる。ビッグバンで始まった宇宙の中に存在するさまざまな元素は、このような放射性同位元素の反応によって生成された。ビッグバンから現在までのすべての物質の成り立ちを科学的に解明するために、是非推進すべき計画である。また、放射性同位元素は、産業や医療にも広く応用されている。実	放射線同位元素は上に述べたようにさまざまな用途がある。また、それ自体重要な基礎研究の対象となる。これら同位元素は当然、地上には存在せず加速器を用いて人工的に作り出さなければならない。巨大な加速器の維持、運転には多くの資金が不可欠である。

							用面からも推進すべきである。	
5105	その他	50～59歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	科学技術関係予算を更に拡充する必要があると思います。特にその中でも、大学や研究所で行われる基礎研究の推進のための科学研究費補助金の予算を拡充していく必要があると思います。	<p>昨年の事業仕分けで、なぜ世界で2番じゃダメなのかなんて訳の分からないことを言う国会議員がいましたが、今まで日本が世界のトップクラスの地位を保つことができたのは、常に世界のトップを目指して黙々と基礎研究に打ち込んできた大学や研究所の先生方がいらっしゃったからだと思います。これから少子高齢化が進んでいく日本が、安心して豊かな生活を送っていくためには、今まで以上に科学技術の発展が必要だと思います。そのためには、科学技術関係予算を更に拡充する必要があると思います。特にその中でも、大学や研究所で行われる基礎研究の推進のための科学研究費補助金の予算を拡充していく必要があると思います。</p>
5106	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24141	特別研究員事業	このまま推進すべき	若手研究者への支援をより拡充していただきたい。特に博士取得後は、主体的にじっくりと研究をできる職はきわめて少なく、国として優秀な若手研究者が能力を生かせる環境を用意してほしい。	長期的に基礎科学や先端技術を推進する上で若手が十分に能力が発揮できる環境は不可欠。現在高い水準を持つ日本の基礎科学、先端技術を次世代に受け継ぎ、更に発展させて行くのは若手研究者で、優秀な人材に取って魅力的な環境でなければならない。
5107	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設(J-PARC)	このまま推進すべき	J-PARCで行われている研究は世界の第一線のものであり、国外において追従する研究施設は存在しない。この計画を一層推進することで、日本が当分野で世界を確実にリードできるものである。	日本がJ-PARCで行われているような基礎科学で世界最高水準を維持することは、国民の教育、文化レベルと活力を高め、技術革新や産業の創出につながり、長期的な日本の発展に寄与すると考えられる。
	大学・公的研究		文部		革新的タンパ	このまま	タンパクの立体構造を知ることにより、そのタンパクの機能をより詳細に理解することができただけでなく、未だ多	脳、免疫、ガンなどの研究分野の基礎となるタ

5108	機関 (独法・公設 等)	30～ 39歳	科学 省	24122	ク質・細胞解 析研究イニシ アティブ	推進す べき	くの機能未知タンパクの 機能予測につながる。 さらに、構造をもとに、 創薬の開発にもつなが る。したがって、このま ま推進すべきである。	ンパク質自体の機能を 理解をすることが必要 である。
5109	民間 企業	60歳 ～	文部 科学 省	24143	大学院教育 改革推進事 業のうち、グ ローバル COEプログラ ム	このまま 推進す べき	基礎科学の研究は 未来に向けての指針で ある。	研究者の環境を整え てこそ、質の高い科学 の向上に繋がる のではないかと。推進す べきである。
5110	大学・ 公的研究 機関 (独法・公 設等)	50～ 59歳	文部 科学 省	24019	数学・数理科 学と他分野 の連携拠点 形成支援プ ログラム	このまま 推進す べき	このようなプログラムが 始まること自身は大変 望ましく、日頃からその 必要を感じているものと して大変ありがたい。た だ、予算規模があまり に小さく、もう少し大き くしたほうがより有益で はないかと思う。	日本が立ち後れている 数理科学の振興とくに たの諸学や産業との関 わりの部分の振興であ り必要不可欠である。 海外の諸国は、数理科 学を科学・技術振興の 柱の一つとして重視し ているが、日本は例外 的に立ち後れている。 コンクリートから人へ というのが現在の予算 の方針と聞くが、数学 は伝統的に「コンクリ ート」に当たる実験設 備等が多くは必要ない ため、予算が少なく、 その結果重要な「人」 つまり「研究者」の養 成まで十分に行われて こなかった。この政策 を改める契機としてほ しい。
5111	大学・ 公的研究 機関 (独法・公 設等)	30～ 39歳	文部 科学 省	24164	高速増殖炉 サイクル技術 の研究開発	改善・見 直しをし た上で推 進すべき	重要性が分かるがコス トがかかりすぎる。原 子力機構の面々を見て いると、無駄に人件費 をかけているとしか思 えない。一層のこと原 子力機構を解体、大幅 にdownsizingした 方がよい。	就業時間を厳守し、自 分の与えられた仕事し かない人が原子力機構 には多すぎる。工学部 出身がそうなのか、そ れとも原子力機構にい るとそうなるのかは判 断できないが、現地採 用枠が悪影響を及ぼし ているのは確実と思わ れる。
	大学・ 公的研究		文部		大強度陽子	このまま	J-PARC,RIビームファ クトリー,KEKB,SPr ing-8の4つの大型加 速器は、いずれもそれ ぞれの分野で世界ダ ントツの性能を持ち、 日本の宝といふべきも のである。ここで進め られる研究は日本の科 学レベルを大きく進 展させるので、い	J-PARCのもつポテン シャルはきわめて高く 、十分な運転時間が確 保され周辺装置等が整 備されれば、将来の日 本の科学レベル向上と 経済発展への寄与は計 り知れない。特に原子 核・素粒子の分野では 、研究現場に多くの外 国人研究者が参加して おり今

5112	機関 (独法・公設等)	40～ 49歳	科学省	24177	加速器施設 (J-PARC)	推進すべき	いずれも推進してほしい。特にJ-PARCは、基礎科学から応用まで広範な最先端科学を展開する画期的な施設であるが、運転予算はこれまで十分ではなく、また測定器や周辺装置の導入や研究環境の整備もまだ十分でない。予算を増やして積極的に推進すべきである。	後さらに海外からの人的、資金的な協力が期待されている。また、世界最高の施設で最先端の研究を行うことは、若手研究者育成にとってもきわめて有効である。こうして日本がこれらの基礎科学で世界最高水準を維持しつづけることは、長期的な日本の発展に寄与する。
5113	大学・ 公的研究機関 (独法・公設等)	50～ 59歳	文部 科学省	24119	ナショナルバイオリソース プロジェクト	このまま 推進すべき	ライフサイエンス関連の科学・技術の研究促進のためには、そのリソースの確保と安定な提供が不可欠であるので、ナショナルバイオリソースプロジェクトは継続推進することが大切であると考えます。	ナショナルバイオリソースプロジェクトで収集、保存、提供されている生物種リソースは、ライフサイエンスおよびその応用分野での研究・開発を支える有用な研究・技術基盤となっています。美しい花を咲かせたり、おいしい果実を得るためには、まず立派な植物体を育てる必要があります。バイオリソースは植物体の土の中に隠れている根のような存在にたとえることができます。土の中でしっかりと根をはった植物体にしないと栄養をよく吸収した植物になりませんし、根が腐れば植物体自体が枯れてしまいます。科学・技術を推進する文化国家として世界に貢献するためにもバイオリソース事業は継続する施策の1つと考えます。
5114	大学・ 公的研究機関 (独法・公設等)	30～ 39歳	文部 科学省	24177	大強度陽子 加速器施設 (J-PARC)	改善・見 直しをした 上で推進 すべき	大強度陽子加速器施設 (J-PARC)は予算を増 強して推進すべき。	大強度陽子加速器施設(J-PARC)は、科学・産業・医療など広範囲に役に立つ加速器である。また、科学分野でも世界中から結果を期待されている実験を多く抱えている。だが、現状では、その強度は世界を牽引する結果を生み出せるレベルまで達していない。文部科学省は、この立ち上がったばかりの加速器をただ運転するのみでなく、予算をむしろ増やして、世界

							中からの期待に応えられるようにしていくべきだと考える。	
5115	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	60歳～	総務省	20111	新世代ネットワーク基盤技術に関する研究開発	このまま推進すべき	現在のIP技術の限界を克服するためには、端末あるいはアクセス部分はIP技術を利用する、あるいはIP技術と親和性のある技術を研究開発/利用しつつも、バックボーン技術としては斬新なネットワーク基盤技術を研究開発することが重要と考えられる。とりわけ、ダークファイバを活用して、超高速で信頼性が高く、しかも安価な広域ネットワーク基盤となることが期待できる新技術について、研究開発を強化することが重要と考える。	膨大な数に普及した端末あるいはアクセス部分については、IP技術から完全脱却することは容易でないと考えられる。しかし、電気通信事業者から現在提供を受けているSDH回線ではなく、ダークファイバを活用することで、新しいネットワーク基盤技術について先端的な実証研究を推進できると考える。
5116	その他	60歳～	文部科学省	24125	免疫・アレルギー科学総合研究事業	このまま推進すべき	孫のアトピーがひどくて、可哀想です。今直す方法を見つけないと手遅れになりませんか。	昔はそんなに花粉症やアトピーの子供はいなかったようにおもいますが、このごろでは私の周りでもうちでも、うちもと本当に多いです。テレビで以前に免疫センターの先生のお話があり、日本ではかかっている人が大勢いて苦しんでいるのです。花粉症もアトピーも食物のアレルギーも人間が作り出しているようです。一日も早く原因を突き止めて解決してほしいです。そうしないとその継ぎの世代の子供達はどうなるのでしょうか？心配で恐ろしいくらいです。私達は次の、又その次の世代に責任があります。
5117	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	文部科学省	24176	光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発	このまま推進すべき	今後の応用展開に向けた基盤技術開発は重要であり、この事業は重要な意義を持っている。ただし、レーザー等に特化するのではなく、広い波長範囲で新規光源開発も視野に入れるべきである。	これまで材料開発等が重要視されてきた中で、光科学・技術開発を試行することは有意義である。
							なぜJ-PARCという事業を推進すべきか？例えば現在素粒子物理学、	

5118	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設(J-PARC)	このまま推進すべき	J-PARCは様々な領域における最先端の実験を行う事ができる、世界でも数少ない最高レベルの実験施設である。とりわけ日本においては、応用のみならず基礎分野のみカバーできる、過去に例をみない実験施設といってもいいと思う。このような事業に対しては、今後の科学の発展のためにも推進するべきと考える。	とりわけ実験領域においては目覚ましい発展を遂げており、全ての物質の根本は何か?という我々の大きな課題に真剣に立ち向かえる段階にいると思う。J-PARCで行っているニュートリノ実験はその答えの手がかりを得ることのできる、世界から見ても数少ないトップレベルの実験であり、当然その役目を果たすべく完遂するべきである。そのためにも、今後の科学の繁栄を築くためにも、この事業を推進することは必須と考える。
5119	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24138	Bファクトリー加速器の高度化による新しい物理法則の探求	このまま推進すべき	この施策は、現在も最先端を誇る素粒子物理学実験施設の更なる高度化であるので、計画を遅らせることなく進めていってほしい。	この施策の目的は新しい物理の探索で、今の生活に直結するものではないにしろ、理系の学生、若手研究者にとって非常に重要な研究の場所になることは間違いない。また、その成果によって新たな学問分野の創出にも繋がると期待されるので、次世代の研究者育成という目的においてとても有益である。以上の理由により、この施策の推進に賛成する。
5120	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	60歳～	文部科学省	24012	博士課程教育リーディングプログラム	改善・見直しをした上で推進すべき	複合領域型(複数領域を横断した学位プログラムに基づく博士課程教育を実施)においては学位取得プログラム以外に、副専攻型プログラムの導入が不可欠である。学位プログラムに特化することは専攻新設に近いカリキュラムが必要であり、内容が固定化されて柔軟性に欠ける。副専攻型はフレキシブルに多数の教員が対等な立場で主体的に参加できる。	世界を牽引するリーダー(卓越した専門性、広範な知識、豊かな教養、国際性、リーダーシップを備えた博士人材)を養成することは、今後の日本の科学技術立国のために不可欠である。
	大学・公的						応用の地盤である基礎	世界に先駆けた研究を推進するためには、アイデアだけでなくそれを実現するために必要な

5121	研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	研究を推進させ、また重厚で多様な知的蓄積を形成するため、科学研究費補助金をより一層推進させてほしい。	資金を得ることが必須である。特に大型予算の獲得は大学運営の範疇では難しく、公的な資金と公正な評価で資金を与える機構が必要となるため、より一層の推進を望む。
5122	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	継続すべき。ただし、数百万規模を数多く採択する形式に変えて欲しい。	科研費は一番使いやすい競争的資金であるため、イノベーションの苗床となる自由な発想の研究を支援する資金として重要である。小額を数多く採択する理由は、選択と集中は実用化間近のものには効果的であるが、イノベーションを起こすのには不向きな戦略であるため。
5123	その他	30～39歳	文部科学省	24122	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ	このまま推進すべき	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブを推進すべきです。	われわれの生活において最も重要な研究分野のひとつであるライフサイエンスの基盤を構築することを目的とする本施策は、国家規模でのバックアップが必須であるため、今後とも積極的に進めるべきです。
5124	その他	50～59歳	文部科学省	24149	国立大学法人等施設の整備	このまま推進すべき	国立大学の施設整備の予算をもっと充実していく必要があると思います。	私の甥がある国立大学で勉学に励んでいます。大学の建物が狭い上に老朽化して、勉学にも支障が出ていると言っています。大学の先生方がおっしゃるには、予算が厳しく建物の整備まで対応しきれないとのことなのですが、これからの未来を背負った若者が勉強や研究に安心して打ち込むことのできる施設や設備などの環境を整えるのは国の責務だと思います。そのためには、国立大学の施設整備の予算をもっと充実していく必要があると思います。
								グローバルCOEプログラムに関わっているが、このプログラムで博士課程学生の経済支援など、当然基盤的経費の中で行われているべき

5125	大学・公的研究機関 (独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24143	グローバルCOEプログラム	このまま推進すべき	<p>長期的な視野で考えるべき学術教育政策の重要施策を、始めて数年のうちに変えてしまうのは、お金の無駄遣いである。</p> <p>経費がまかなわれているのが実情である。それを途中で中止するのは、はじめからやらないよりさらに悪い結果的になる。日本の学術研究の状況から、博士課程にすすみ学問を継続しようと言う学生が減ってきているなかで、始めた経済支援を後からやめるようなことがおこれば、はじめからしなかったときよりさらに学問を志す学生が減り、日本の文化的レベルや科学技術のレベルを引き下げることになる。</p>
5126	その他	60歳～	総務省	20108	ICTグリーンイノベーション推進事業	このまま推進すべき	<p>CO2削減を含む環境技術の発展にはICTによる支援は不可欠であり、逆にいえばICTの支援なしには既存の環境技術は効果を発揮しない。環境向けICTと環境技術は同時に推進すべき</p> <p>太平洋戦争では、我が国は個々の兵器技術は優れていても、それらを統合したシステム化に欠けていた。技術士として機械・環境技術の指導に当たっているが、我が国は個々の環境技術は優れていても、それらをシステム化して相乗効果をあげることができていない。ICTはそのシステム化において必須であり、本事業はその目的に合致しており、大きな成果が期待できる。</p>
5127	大学・公的研究機関 (独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24119	ナショナルバイオリソースプロジェクト	このまま推進すべき	<p>生物遺伝資源は研究のインフラ整備として不可欠であり、将来を展望するきちんとした方針に基づいて体系的に整備する必要がある。そのためには予算措置が必要である。現状で補助金によりサポートされていないリソースもあり、予算の効率的使用を検討するとしても全体の予算枠は維持すべきと考える。計画的なリソース整備は研究費予算の効率的使用でもある。</p> <p>リソース整備が行われていない状態を想定してみた。1変異体を新たに作り出すためには私が使用している生物種では人件費も考慮に入れると少なくとも50万円程度が、1遺伝子の新規クローニングにはその1/2程度が必要になる。いったん研究予算で作製されたものを利用することなく再度別のグループが作り出す努力を払うことは無駄に他ならない。さらに、多くの場合2～3回のトライアルが必要となるのが現実である。</p>
					自給飼料を		<p>国内の飼料資源を用いて安全で安心できる畜産物の生産のために、飼料米等を水田で作付けして</p>

5128	その他	50～59歳	農林水産省	26103	基盤とした国産畜産物の高付加価値化技術の開発	このまま推進すべき	産物を生産することは、地球温暖化等により海外における飼料生産が不安定な状況下では重要である。	生産し有効利用する事は、日本の気候・風土、土地を最大限利用できる方法であり、家畜からの糞尿も有効利用できるもので、好ましい。
5129	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24140	RIビームファクトリー計画の推進	このまま推進すべき	このまま推進することを強く望みます。	現在私はRIBFとライバル関係にあるドイツGSI研究所に出張中ですが、RIBFほどの施設は整っておらず、RIBFが世界最先端の研究成果を出せることは明確です。RIBFという世界トップレベルの研究施設で研究できることは、将来、日本の科学技術を牽引していく人材になるうえでは、非常に有意義であることを実感しています。
5130	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24138	Bファクトリー加速器の高度化による新しい物理法則の探求	このまま推進すべき	加速器を利用した基礎科学、特に素粒子物理学の分野は我が国が世界をリードしており、世界中から研究者が日本に研究に来る分野であり、国際的に通用する若手の育成、頭脳循環、などをおしすすめるためにも推進すべきである。	基礎科学は国の将来の発展を支える基礎体力とも言えるべきものであり、国際的に通用する若手研究者の育成のためにも国家で支えるべきものである。
5131	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24143	グローバルCOEプログラム	このまま推進すべき	GCOEプログラムによって多くの若手研究者が研究を行える環境が提供されている。日本が国際的に卓越した教育研究拠点をもち続けることは、科学研究のレベルを将来に渡って維持するために極めて重要である。	日本の国力へと繋がる、基礎研究のレベルを維持するのに必要なものは研究を行う人材の確保である。GCOEプログラムによって多くの研究者を育成できる環境を維持することは、将来の国力の維持に必須である。
5132	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	総額が増えることが望ましい。また、申請にあたって研究者の負担を最小限にとどめ、かつ正しい評価が分野を超えて行われるよう改善されることを期待する。	大学等での基礎科学においては、研究費の大部分が科研費でまかなわれている。個人や研究室での独創的であったり、最先端の研究を奨励するためにも、優れた研究案に対し、広く厚く、科研費を与えてほしい。
							RIBFの建設にはすでに数千億円という建設費がかかっている。日本	日本では、基礎科学、技術を基盤とした国の

5133	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24140	RIBFビームファクトリー計画の推進	このまま推進すべき	がそれだけの投資をしてこれまでのプロジェクトを推進してきたことは評価できる。しかし、それだけの投資をしてせっかく世界一の施設が稼働し始めた段階で、予算の削減のために十分な運転ができないなど、そんな馬鹿な話はない。日本が足踏みをしている間に他国に抜き去られてしまう。ここでプロジェクトの縮小を行うなどまさに無駄遣い、愚の骨頂である。	あり方を目指す他はない。特に基礎科学の分野では、短絡的な成果にとらわれない長期的な見方での投資が真の「一流国」としての在り方だと思う。大衆的な見地での無駄遣いの削減とは異なった見方をしなければならない。特に、RIBFといった世界最高の施設を有しているのだから、それを有効利用しない手はない。
5134	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24125	免疫・アレルギー科学総合研究事業	このまま推進すべき	ぜひとも、スギ花粉症を解決するための研究を進めて欲しい	大学入学後に花粉症を発症し、毎年花粉の季節には辛い思いをしている。その辛さから開放されたいから
5135	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	科学研究費は十分にねられたシステムで成果を上げている。一番の欠点は、採択率が低いことである。そのみを改善し、より推進すべきである。	科学研究費補助金は日本の科学の発展の中心的な役割を長年果たしており、選考システムなどもそれなりに整備されていて、全体として成果を上げている。効果を上げている施策をむやみに減らし、目新しい所にお金を回すことは、学術の振興という短絡的な見地ではできない目的への、施策としてはふさわしいやり方ではない。
5136	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設(J-PARC)	このまま推進すべき	この施策は、施設の運用準備が整ったばかりで期待される成果はこれから出る予定であるが、そのためにも滞りなく計画を進めてほしい。	この施策では、大強度の陽子加速器による様々な二次粒子を使って、基礎研究だけでなく、産業応用にまで研究範囲を広げている。それによって、物理以外の様々な分野での恩恵が期待される。その成果で日本発の新たな技術・製品が開発されることも期待されるので、この施策の推進に賛成する。
	大学・公的							純粋に科学的なミッションは継続的に実施することが、日本の科学/技

5137	研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24170	Bepi Colombo(水星探査プロジェクト)	このまま推進すべき	Bepi Colomboは価値の高い探査ミッションであり、既にコスト低減を図っており、このまま推進すべきである。	術維持のために重要。また、日欧協同のもとで実施しており、国際社会の中で日本の役割を果たす／示すためにも実施することが重要である。
5138	大学・公的研究機関(独法・公設等)	60歳～	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	本補助金は我が国唯一の基礎科学研究推進経費であり、純粋科学から応用科学まで、日本における科学技術、教養文化の基礎となる研究を支援することが大切である。応用、実用化を目指すフェーズの研究は別経費を充てるべきである。何に役立つかをあまり強調する採択傾向は憂慮される。このまま推進すべきであるが審査は一考にすべきである。	自由な発想に基づく意外性や緻密な基礎研究の上に、新たな応用技術への展開があることは最近の科学技術の密接な関係を見ても明らかである。今後の日本の科学技術立国のために基礎科学により多くの投資を行うのが見識と考える。
5139	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	研究者が自由な発想に基づき研究を行うための最も重要な予算であり、ぜひ推進すべきである。	科研費は幅広い分野で研究者ベースの自由な研究を支援する資金であり、我が国の学術の発展の基礎を支えるために最も重要な資産の一つである。
5140	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	科学研究費補助金はメリハリを付けて、推進すべき。	科学研究費補助金は、全ての科学分野の大きな資金的拠り所になっているのはもはや周知の事実であると考えられる。資源のないこの国で人材がこの国の隆盛の命綱であることは間違いがなく、資金のある科学研究活動が人材の育成に貢献してきたのは言うまでもないことである。また、戦後の日本の繁栄が科学技術や科学の発展に支えられてきたのも誰も異論がない。この予算は他の予算を削ってもむしろ補強し推進すべき項目であると考えられる。
								私自身過去のCOEプログラムにより援助を受けており、大いに役に立った経験に基づき、このまま推進するべきであ

5141	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24143	大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム	このまま推進すべき	グローバルCOEはこのまま存続すべきである。削減は科学技術立国としての日本を支える人材である博士号所有者の激減をまねく。	ると考えている。欧米の博士課程学生は給料をもらって研究を行うことから、彼らの研究に対する主体性はかなり高いといえる。一方日本の学生は自ら学費を払っていることから、どちらかというどり立ちすることなく甘えたままで学生生活を送っている人が多く見受けられる。研究者意識の向上はそのまま日本の底力となると確信している。
5142	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24140	RIビームファクトリー計画の推進	このまま推進すべき	J-PARC、Spring-8、KEKBファクトリー等、それぞれの世界一の特徴を生かして、先端加速器による基礎科学を推進してほしい。	RIBFは生成できる不安定核の数が世界一であり、核力を理解する上で、世界をリードできる施設である。先端加速器施設を支援することは若手育成や国際交流、技術革新の点においても長期的に日本の国益となる。
5143	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	科学研究費補助金は日本の科学技術の発展を支える不可欠な予算である。特に、23年度開発目標に記載されている基金化には期待している。	基金化は研究費の使用に対して柔軟性をもたすことができるかと理解している。ある程度の柔軟性を可能にすることにより、事務パワーの節約や不正の抑止につながるはずである。
5144	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24141	特別研究員事業	このまま推進すべき	若手研究者育成のための重要な政策であり、推進すべきである。	若手研究者が自立して研究を進めるための最も効果的かつ一般的な方策の一つとなっており、若手の育成のために欠くことはできない施策である。今後の学術の発展を支えるために、より一層の充実が望まれる。
5145	大学・公的研究機関(独法・公設等)	～19歳	文部科学省	24125	免疫・アレルギー科学総合研究事業	改善・見直しをした上で推進すべき	アレルギー疾患に関して、具体的に臨床応用につながる研究を進めてほしい。	花粉症ワクチンをはじめ、企業にはない幅広い分野間のつながりを生かした研究を進めてほしい。しかし、無駄なお金を使わずに結果を出す努力も必要だと思う。
							イノベーション関連の課題と拠点を関連づけすべき。大学院の強化は平均化	無駄だと言って本来の職務をすべき人を切り捨ててしまった結果教員が事務員の仕事を

5146	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24143	大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム	推進すべきではない	し、特に人材(教員ポスト、研究教育以外の事務系人員ポスト)の強化とその人員收容の施設増加にあてるべき。COEで強化を受けた大学院などが実際に強化されたようには見えない。教員が事務員のするような仕事を大量に(作文含め)要求されるような日本の大学はダメ!	しなければならなくなっています。こういうことが是正されるべきです。しかしながら文部科学省自体が色々なところで教員を使わなければならないような仕事を大学にふっています。COE一つにしても単純に作文という下らない業務が教員に降りかかっていることを文部科学省はどう説明するのでしょうか?
5147	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24141	特別研究員事業	このまま推進すべき	特別研究員制度によって、若手研究者は強力な支援のもとで研究を行うことが出来る。制度の推進は、日本の国力向上へと繋がる基礎科学のレベルを維持するために必須であると考えられる。	特別研究員は門徒が狭く、ある種優秀な研究者であるという指標にもなっている。よって、特別研究員を目指すというモチベーションによってもたらされる切磋琢磨によって、若手の研究者のレベルを確実に上昇させてる。すなわち、この制度は日本が国際的にも世界をリードする研究を行う上での原動力となっているのである。
5148	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24138	Bファクトリー加速器の高度化による新しい物理法則の探求	このまま推進すべき	世界最高輝度を達成して小林・益川理論を証明したBファクトリー加速器を、さらに輝度を上げて素粒子物理学の標準理論の限界にせまり、基礎物理学のパラダイムチェンジをもたらさしめる重要な実験であり、ぜひとも強力で推進すべきと思う。また、Bファクトリーで培われる加速器テクノロジーは、他の加速器実験への応用が期待され、他の素粒子実験への波及が期待される。	スーパーカミオカンデによるニュートリノ振動の発見に続き、Bファクトリーでも素粒子標準理論を越える現象を発見できれば、「日本発の基礎物理学へのパラダイムチェンジ」として、「日本は欧米の基礎科学にただ乗り」という長年の風評を払拭できる。また、Bファクトリーで培われる日本の加速器技術は、欧米でのエネルギーフロンティア加速器へも波及するので、世界全体での素粒子物理学への寄与も多大と思う。
5149	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24149	国立大学法人等施設の整備	このまま推進すべき	優先すべき。国立大学、特に理工系学部を持つ大学は、敷地内で危険物を管理している。施設管理費が減るとそのような危険物取り扱いのための設備からお金が回らなくなるので継	運営費交付金の減額がほぼ決まっている中で、施設の改装が遅れることもほぼ決まっている。これがなくなると、国立大学の教育機関としての機能も落ちてしまう。

	等)						続すべきである。	
5150	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24149	国立大学法人等施設の整備	このまま推進すべき	我が国の人材育成に重要な役割を果たす国立大学法人の施設を整備することは重要であるので、推進すべきである。	国立大学法人が我が国の人材育成に果たす役割は言うまでもなく大きい。しかし、その施設環境は必ずしも我が国の将来を担う人材の高等教育に十分とは言えない場合が多く、より一層の充実が望まれる。
5151	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	60歳～	文部科学省	24134	戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発事業を含む)	このまま推進すべき	戦略目標の中でも、できるだけ基礎よりの課題を抽出することが望ましい。	新技術開拓と言っても、経産省のプロジェクトとは区別した、基礎よりの研究から意外性のある革新的応用技術に結びつく可能性のある研究を推進することが必要である。
5152	民間企業	40～49歳	総務省	20006	ホワイトスペースにおける新たなブロードバンドアクセスの実現に向けた周波数高度利用技術の研究開発	このまま推進すべき	無線通信は、急速に利用用途が拡大され利便性の認知が進み、更なる利用拡大機運が高まっている。しかし、電波資源は有限、近接領域における干渉問題などの課題を抱え、より高効率、高信頼な活用が強く望まれている。そのような要望に応じていく1つの施策として、本研究開発テーマは、有効であると考え。なお、周波数割当・管理に当たっては、国内のみの手法に陥ることなく、国際標準に対応できるものになることが望まれる。	近年、移動体における無線利用の拡大、広帯域化は著しく、1つの携帯端末で様々なサービスが提供されるようになり、データ量やその特性の多様化が進み、既存割当て周波数帯のみの運用では、非効率なケースも出てきた。また、自動車分野では、サービス用途別に周波数が割当てられているため、通信デバイスがそれぞれに必要ななど非効率な面がある。さらに、将来のスマートグリッド分野では、地域、地理、天候条件などにより、利用周波数帯を柔軟に選択できることが重要になると考える。そのため、電波利用状況の抽出、動的な周波数管理技術などが確立すれば、時間的、地理的、環境的な条件により、利用周波数の統合・分散が容易にできるようになり、効率的な周波数利用が実現できるものと考え、本テーマの推進を望むものである。
	民間	40～	経済		次世代印刷エレクトロニクス材料・プ	このまま	日本のものづくり復活のカギである。印刷エレクトロニクスは、産業の垂直統合、すり合わせ型技術を必要とする。	印刷エレクトロニクス製品は、従来エレクトロニクスにない新たな価値

5153	企業	49歳	産業省	27007	ロセス基盤技術開発事業	推進すべき	国の支援により大きな競争力を持つことになるだろう。シリコン半導体で敗れた日本の復活に期待する。	を提供するようにみえる。私たちの生活の利便性向上に貢献するものとして期待している。
5154	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	我が国の研究者の研究活動を支える重要な競争的資金であり、予算規模を拡充すべきである。	今後、資源の少ない日本が国際的に反映して行くには新しい科学技術の開発が必須である。そのため、将来を見据えてすぐには産業化しにくい基礎的な分野への研究費補助が是非必要である。
5155	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24132	感染症研究国際ネットワーク推進プログラム	このまま推進すべき	グローバル化がすすむなか、感染症も簡単にかつすばやく国境を越えていく。このプロジェクトは新興再興感染症のパンデミック防止に役立つものと考えます	感染流行地に拠点を置き、日本からの研究者を常駐させることは感染症の流行をいち早く察知し、日本への流入を防ぐために非常に有用と思われます
5156	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24144	私立大学等経常費補助	このまま推進すべき	私立大学の人的資源の有効活用のため、さらに強く推進すべきと考えます。	高校生人口の減少により私立大学の基盤が弱くなっているが、私立大学の多くは、受験偏差値で示される以上の有能な人的資源を持っており、その才能を埋もれさせないため。
5157	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設(J-PARC)	このまま推進すべき	基礎科学から応用科学まで広い範囲で、世界最先端の研究を行える施設であり、推進すべきである。	J-PARCは基礎科学から応用科学まで、広い範囲で世界最先端の研究を行える、世界でもユニークな施設であり、国際的な研究も多く行われつつある。より一層の充実が図られるべきである。
5158	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24012	博士課程教育リーディングプログラム	このまま推進すべき	高等教育は国家の要であり、今後資源に乏しい日本が世界のトップに生き残るためには博士課程をはじめとする高等教育の充実が極めて重要であるので強力に推進すべき。	博士課程に進学を希望しない学生の多くは金銭的な不安を理由の一つに挙げている。後に借金となる奨学金制度だけを頼りに博士課程に進学するよりは、いち早く企業に就職して安定した生活に就きたいという考えは理解できるが、このままでは日本の高等教育の危機である。海外では博士課程の学費が無料なのは珍しくなく、有料な場合であ

							ってもRA, TA等の給与で生活費も含めてまかなえる場合が多い。 この点において日本の教育システムは立ち後れているので早急な整備が必要である。	
5159	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設(J-PARC)	このまま推進すべき	是非ともこの大強度陽子加速器施設(J-PARC)に関する計画をこのまま、いえこれまで以上に推進して頂きたく思います。私のように原子核また素粒子の研究をしている者にとっては待ち望んだ施設です。そしてJ-PARCは素粒子・原子核物理に関して世界最高の実験を行える施設です。この施設を最大限利用することで、他の国の追随を許さない最高の成果が得られると期待されます。日本の基礎研究の最先端を更に発展させるためにも是非とも推進して頂きたく思います。	原子核物理には、理論研究者がいくら努力しても現時点の知識・データでは解決不能な問題があります。ですが豊富なデータによって理論の不定性に拘束がかかり、問題が一気に解決することが期待されません。私が研究しているストレンジネス原子核も、これまでに様々な施設で実験が行われてきましたが、生成量が少ないためデータ不足でまだ多くの謎が残っています。しかしJ-PARCでは世界最高強度の陽子ビームにより多くのストレンジ原子核を生成でき、その詳細な性質が分かると期待されます。世界的にも現時点ではJ-PARCに匹敵する施設はなく、多くの海外の研究者も着目しています。J-PARCによって日本の基礎科学の発展だけでなく、国際交流も盛んになると私は思います。
5160	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24122	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ	このまま推進すべき	より一層推進すべきだと考える。	タンパク質の構造・機能の解析や、細胞レベルの解析は、経験則が通用しないことも多く、大規模・網羅的な解析にも困難が予想される。多面的な解析を行ない、生命の全体像を把握するためにも、本件をより一層推進し、解析する環境を整備する必要がある。
	大学・公的研究				生活習慣病・難治性疾患		難病克服は、民間任せではその進展は困難なことから、国家的な事業として国が責任を持って行うべきであり、本研究事業で目指している難病患者さんの生体試料	とくに弱い立場に立たされている難病の患者さんを国として支援し、治療法の開発を積極的に進めることで、患者さんに希望を持ってもらうこ

5161	機関 (独 法・公 設試 等)	50～ 59歳	厚生 労働 省	25106	克服総合研 究(4)難治 性疾患克服 研究	このまま 推進す べき	等の収集・提供に関する研究を継続的に行い、多様な難病の病態に関する知的基盤を作ること、難病研究推進の基盤として非常に重要であり、本施策を優先的に推進すべきである。	とは、国家的あるいは国民的課題として重要であることから、この課題を進める基盤として、本施策は必須で有り、将来の高度な福祉国家建設にもつながるものである。
5162	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	20～ 29歳	文部 科学 省	24138	Bファクトリー 加速器の高度化による新しい物理法 則の探求	このまま 推進す べき	J-PARC、RIBFの推進やKEKB高度化などによって、先端加速器による基礎科学はこれから日本が世界をリードできる分野である。ぜひ積極的に推進してほしい。	世界をリードする大型施設には、世界から優秀な人が集まり、国内の優秀な若手が育つ。基礎研究の成果だけでなく、世界での日本の地位を高め、技術や産業への波及効果等で国力の発展への寄与が期待される。
5163	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	60歳 ～	経済 産業 省	27126	固体高分子 形燃料電池 実用化推進 技術開発	改善・見 直しをし た上で推 進すべき	予算額が22年度に比べ23年度で大きく減少しているのが目に付く。これに関連して2次電池は現状維持で太陽電池は大きく増加している。限られた予算をどう配分するかで仕方がない点があるのは理解できるが、燃料電池は技術開発途上にあり、多くの問題を抱えながら、実用化に向けて大いに努力している。さらに将来の重要になることが予測できる。例えば自動車に例をとると、電気自動車と比べて燃料電池とのハイブリット車が主力になると思われる。	電気自動車を高性能化しようとする、搭載する2次電池はエネルギーの点で大型化が必須である。すなわち大きなエネルギーの塊を抱えることになる。その場合わずかな欠陥が大きな事故を引き起こす。以前に起きたソニーのパソコンでの事故がそのよい例である。このことから電気自動車の大型化を含む高性能化には限界がある。一方、燃料電池に用いる白金触媒は資源の枯渇が問題になっているが、これに関しては発想法の転換で代替物が開発される可能性を秘めている。
5164	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設試 等)	20～ 29歳	文部 科学 省	24133	科学研究費 補助金	このまま 推進す べき	科学研究費補助金はわが国の科学技術の発展のためには不可欠でありより一層の充実を図るべきである。研究者がより自由で多様な研究を行い、世界に先駆けた成果を残し、国民の生活を豊かにする技術を開発するためには研究環境の整備が避けられない。科学技術の進歩は一朝一夕に為されるものではないので長期的な視野に立つことが重要である。継続	科学研究費補助金は人文から自然科学まで多様な研究を助成するものであり、若手研究者が育つ土台である。このような補助の不足で若い芽が摘まれることはわが国にとって非常に大きな損失であり、有能な研究者の海外への流出、国際的な競争力の低下を招く。競争力の低下は経済の低迷、ひいては社会の不安につながる。わが国の科学への支援はまだまだ

							的に科学技術政策の向上に努めることが大切である。	足りない。研究を行う”場”としての魅力を備えるべきである。
5165	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24170	Bepi Colombo(水星探査プロジェクト)	このまま推進すべき	このプロジェクトは推進して欲しい。	水星は謎に包まれている星であり、水星近傍での観測を行った人工衛星は数少ない。直接観測をする事によって未だ分かっていない水星の謎が明らかになる為。
5166	その他	50～59歳	農林水産省	26105	アグリ・ヘルス実用化研究促進プロジェクト	このまま推進すべき	花粉症対策技術の推進は重要。また、火傷などの治療法として、自己皮膚移植などがありますが、良い皮膚再生用素材の開発は患者さんが期待する技術開発だと考える。	わが国において、花粉症は国民病と言われる程、重要な問題であるため。良い皮膚再生用素材の火傷等への利用は、自己皮膚移植と比べて非常に簡易で適用範囲も広いと考えられるため。
5167	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24012	博士課程リーディングプログラム	このまま推進すべき	世界を牽引するリーダーを養成する必要がある、そのためには高度な教育基盤としてリーディング大学院を構築する必要があると思う。	国力を強化するためには優秀な人材の育成をしなければならぬ。実力のある大学を選び、国際競争力を高めていけば自然とリーダーとなる人材が育つはずであるから。
5168	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24012	博士課程教育リーディングプログラム	このまま推進すべき	日本の大学の博士課程の学生は優秀であっても周囲からの支援が十分とは言えない。優秀な学生が集まっている状況を強力に支援することで、国際的にリーダーシップを取る人材の育成は極めて重要である。	博士を積極的に社会に活用することは世界的には一般的であるが、国内の状況を見る限り効率的に博士の人材を活用出来てはいない。このような教育プログラムによって育成される博士のみならず、企業や公的機関等と社会に役立つ人材を育成できる環境を築くことが出来る点は重要である。
5169	大学・公的研究機関(独法・公設試)	40～49歳	文部科学省	24178	大型放射光施設(SPring-8)	このまま推進すべき	SPring-8,J-PARC,RIBームファクトリー,KEKBの4つの大型加速器は、いずれもそれぞれの分野で世界ダントツの性能を持ち、日本の宝というべきものである。ここで進められる研究は日本の科学レベルを大きく進展させるので、いずれも推進してほしい。SPring-8では画期的な成果が生まれ続けているが、十分な運転	SPring-8で得られる成果は、ライフ・グリーンイノベーションから材料・物質科学、原子核物理まで幅広く、いずれも日本の将来を変える素晴らしいものである。この施設が建設され活躍していること自体が日本の科学技術のレベルの高さを示している。しかし、運転時間を十分確保し

	等)						経費の確保と研究環境整備、利用者支援を進めて、基礎科学研究者から産業界までさらに多くの研究者をひきつけて多数の成果が出るように強力に推進してほしい。	て利用者をさらに増やし、よい成果が出るように支援しなければ、新しい産業や研究分野の創出にはつながらない。
5170	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	50～59歳	内閣府	13101	沖縄科学技術大学院大学の開学準備	このまま推進すべき	日本が沖縄における基礎科学研究を通じて東シナ海や太平洋の環境保全に貢献していることを積極的にアピールし、中国による環境汚染や不当な開発を抑制することにつなげるべきである。基礎科学研究を真摯に進めることが最も重要で、あまり技術応用方面に欲を出しているととられるようではない。	単に日本の地政学的利益のためにやっているにとられてはならない。また中国を攻撃する意図があるととられてもならない。沖縄や環太平洋にとって重要な基礎科学研究を真摯に追求していることを全世界の心ある、教養ある指導層に理解していただくことが重要である。
5171	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設	このまま推進すべき	ノーベル賞級の実験も数多く予定されているので、このままJ-parcでの、実験を推進すべきだと思います。	基礎科学の発達のために日々寝る間を惜しんでがんばっている国民は数多くいます。その人たちのためにもこのような施設の発展が推進されることを望みます。さらに、偉大な大発見も予期されているので、それが見つかれば日本がまた科学大国として復活できると思います。そのためにもこの施策を推進してほしいです。
5172	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24123	脳科学総合研究事業費	このまま推進すべき	脳研究は国策として推進すべき	国民に対する利益が大きい。
5173	大学・公的研究機関	20～	文部科学省	24174	革新的ハイパフォーマンス・コンピュータ	このまま推進す	次世代スーパーコンピュータ開発および利用環境の構築・運用は基礎科学や応用科学を始めとした我が国の科学	スーパーコンピュータは、現代の科学技術において主要な位置を占めている。基礎科学および応用科学の研究では、実験や観測で調べることのできない対象のシミュレーションによる解析など、様々な場面においてスーパーコンピュータが利用されており、その重要性は近年

	(独 法・公 設試 等)	29歳	省		ーティング・イ ンフラ(HPCI) の構築	べき	技術の将来を決定付け る要素であるため、当 該施策を推進すること が必要不可欠であると 考えられる。	益々拡大している。ま た、スーパーコンピュ ータは、科学研究のみな らず、通信、物流、医療 など広く社会で応用され ている。このような最先 端の技術開発は、国際 競争の観点からも重要 であり、我が国でもそれ を推進する必要がある。 る。
5174	大学・ 公的研究 機関 (独 法・公 設試 等)	40～ 49歳	文部 科学 省	24014	頭脳循環を 加速する若 手研究者戦 略的海外派 遣事業	このまま 推進す べき	資源に乏しい日本が今 後生き残る為には人材 育成がキーポイントに なる。今、海外で研究経 験を積んだ優秀な人材 を戦略的に育てること が将来の日本の科学を 背負って立つ研究者育 成に繋がる。人材育成 には時間がかかるので、 今初めても成果が出 始めるには5～10年 単位で時間がかかる可 能性がある。今後も含 めて継続的に若手研究 者育成プログラムの充 実をはかる必要がある。 また、帰国した若手 研究者を有効活用でき るポストの充実(大学 だけとは限らず企業に 対しても)を目指すこと も同時に重要である と思われる。	日本の大学院生や若手 研究者は海外の学生達 と比べて一般には優秀 であるが、自分の意見 を自信を持って主張す る、説得力のある議論 をする、といった点にお いて見劣りがすることが 多い。若手研究者を積 極的に海外の研究拠点 に送り込み切磋琢磨さ せることにより、日本の 研究レベルの底上げを はかり、それと同時に 将来のリーダーを育成 する本プログラムは極 めて重要であり、継続 して推進することが必 要であると考え
5175	大学・ 公的研究 機関 (独 法・公 設試 等)	30～ 39歳	文部 科学 省	24140	RIBームファ クトリー計画 の推進	改善・見 直しをし た上で推 進すべき	RIBームファクトリー (RIBF)では主に不安 定原子核を対象にした 世界最先端の研究が進 められている。一方で アメリカならびにドイツ においても、2010年代 半ばを目標に同等以上 の性能を持つ施設の建 設が進められている。 アメリカ・ドイツの両 施設稼働後においても 、RIBFのみが実現可 能な10年20年後の 世界最先端の研究目 標を定めた上で、RIB F計画を推進すべき と考える。	RIBFでは基礎研究 だけでなく、物質・物 性科学、生命科学など の応用研究も行われ ている。類似施設に対 する基礎研究のスピー ド競争のみにとられ ず、応用研究の裾野 を広げることで、他 施設が追いつけない 総合原子核研究施設 へと発展することが 望ましい。
								科研費は我が国の科 学研究において最も 重要な研究資金であ り、大学の運営費交 付金が

5176	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	<p>科研費以外のいわゆる「競争的研究資金制度」を整理・統合して予算を減額したうえで、ねん出した予算を科研費に投入し、科研費予算の拡大・採択率の向上をめざすべきである。</p> <p>科研費は予算を拡充したうえで、今後も推進すべきである。</p> <p>年々削減されてゆく中、JSTなどに代表されるいわゆる戦略的資金の対象とならない基礎研究の現場では科研費だけが唯一の研究資金である。</p> <p>我が国の科学技術政策においては、実に多種多様な科学技術予算の項目が存在しており、制度が複雑で重複も多く、一部の研究者に莫大な研究資金が集中するという非効率的な状況に陥っている。</p> <p>また、多くの資金において助成対象が不透明なプロセスを経て決定されており、基礎研究に対する研究資金の配分が少ない。短期的な成果を見込める応用研究を重視する一方、基礎研究を軽視する風潮は、遠からぬ将来、我が国の科学技術の衰退を招くものと思われる。助成対象の決定プロセスが不透明な戦略的研究資金とは異なり、科研費は研究者同士のピアレビューによって公正に審査・配分されている。日本の科学技術発展を目指す上で、科研費制度の拡充は非常に重要である。</p>
5177	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	40～49歳	文部科学省	24141	特別研究員事業	このまま推進すべき	<p>特に学位をとってから、自分の視点で研究するために重要だから</p> <p>科学研究費による若手雇用は自由な研究を生まない傾向がある。一方この制度は若手の自由な着想に基づく研究を可能にする。現在大学院生中心の制度になっているが、学位取得後の研究をサポートする制度として拡充されるべき。</p>
5178	大学・公的研究機関(独	50～59歳	文部科学	24145	私立学校施設高度化推進事業費補	このまま推進す	<p>多様な研究教育環境の維持のため、私立大学の施設高度化を推進す</p> <p>受験料や授業料収入の減少により私立大学の経営が危うくなっているが、中には有能な人材を多く抱える大学がたく</p>

	法・公設等)		省		助	べき	べきと考えます。	さんあり, その能力を発揮し成果を出すために研究教育環境の整備が急務である。
5179	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50~59歳	経済産業省	27108	低炭素社会を実現する超低電力デバイスプロジェクト	このまま推進すべき	EUV,次世代低消費型デバイス開発共に我が国の産業競争力の根幹を担うプログラムであるり推進するべきである。	本プロジェクトがなくなるとナノエレクトロニクスに関する技術開発の根幹を諸外国の開発結果に頼ることになり, 我が国の競争力が大きく損なわれるため。
5180	民間企業	50~59歳	経済産業省	27169	グリーンITプロジェクト	このまま推進すべき	「半導体を0.5V以下の駆動電圧で動作させる極低電力化技術」と「極低電力回路・システム開発」は, 今後のエネルギー、エコ技術として重要と思います。半導体は, 世界中の電子機器のあらゆるところに使われています。人間の生産活動向上のは不可欠で, 性能を上げることによって新たなイノベーションがその生産活動活性化の基になっている。また使われる数も膨大なので, エネルギー、エコ技術将来技術として欠かせないと考えます。	半導体は日本の重要技術であり, エネルギー、エコ技術で今後も世界をリードするには, デバイス技術や回路技術やシステム技術であらなイノベーションが必要で, その技術開発は日本の生命線でもあります。依って, 国家事業としての活動や支援は, 非常に重要であり, 産業への無限の展開に寄与するものと信じます。
5181	大学・公的研究機関(独法・公設等)	60歳~	文部科学省	24019	数学・数理学と他分野の連携拠点形成支援プログラム(新規)	このまま推進すべき	アメリカ、イギリス、フランス、中国は、数学のもつ特性である普遍性、汎用性そしてその論理性を、科学技術のイノベーションの源泉として、他分野連携に積極的に活用している。科学技術分野における国際競争に日本が今後とも互角の競争を行っていくためには、数学と他分野連携のための拠点形成と他分野連携を担う数学力をもった若手研究者を多数育成していくことが急務であり、そのための政策を強力に推進することを望む。	とかく縦割になりがちな日本の科学研究において、科学の横系としての役割を担う数学は、現状を打破しうる大きな可能性を持っている。これは数学の特質が、その普遍性と汎用性にあるからである。つまり仮定が同じであれば、それから数学的議論で導かれる結論は、同じ結論を満たすものに対しては全て適用可能であるという普遍性と汎用性を持っている。これは分野間の連携を行う上で、一見異質な分野を結び付ける横系として数学がいかに重要であるかを端的に示している。事実、数学者として私が携わってきた他分野連携や企業との共同研究において、数学がいかに

								に考えを整理し、的確に表現するのに有効であり、その結果として研究をスピードアップするのに役立つからである。
5182	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	60歳～	経済産業省	27108	低炭素社会を実現する超低電力デバイスプロジェクト	改善・見直しをした上で推進すべき	研究開発目標に、消費電力が1/10となる超低電圧(0.4V以下)において動作するデバイスのコア技術を開発(2014年)がございませう。この実現をより確実なものにするためには、ここに含められているCMOSデバイスの代替技術の他に、CMOSデバイスの本流である低電圧微細化技術の継続が必要であると思ひます。将来の低電圧微細化技術の要としては、FIN FETからSiナノワイヤFETに繋がる3次元構造やHigh-kゲート絶縁膜の更なる薄膜化に関する技術開発が不可欠で、今後も引き続き使われ続けることの確実なCMOSデバイスの近い将来の発展を左右するほどに重要です。	Siナノワイヤの研究は、3年ほど前に日本においても本格的な研究が開始され、Siナノワイヤの形成のみならず、その電極材料の研究など、デバイス応用に向けて重要な成果が得られつつあります。また、次世代High-k材料としての希土類をベースとしたゲート絶縁膜を用いて、デバイスの低消費電力化にとって重要なリーク電流の低減と微細化限界を左右する指標としてのEOT値に関して常に日本はチャンピオンデータを出し続けるとともに、ゲート絶縁膜の完全性に及ぼす電極材料の影響、他のHigh-k材料などとの複合膜についての研究など地道な研究が展開されつつあります。技術のブレークスルーまであと一息のところにおりまので、2012年度以降もデバイスの主要なコア技術として、SiナノワイヤやHigh-kを是非含めるべきであると思ひます。主要技術の継続的発展のためには、主要な技術開発を行っているグループへの継続的な支援が是非とも必要と考えます。
5183	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24121	脳科学研究戦略推進プログラム	このまま推進すべき	アウトリーチ活動に重点をおきつつ、より推進すべきだと考える。	特にアウトリーチ活動に関しては社会的にも重要である。到底科学とは認められないような、「自称」脳科学者のトンデモ理論を排除するためにも、『社会に貢献する』脳科学研究を推進する研究者自らが極めて積極的にアウトリーチ

							活動を行うべきである。
5184	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	<p>大学で行われている研究によって日本の基礎科学力の維持と向上が果たされている。科学研究費補助金制度を推進することは、日本の基礎科学にとって極めて重要である。</p> <p>基礎科学力の維持と向上は日本の国力の基盤となっている。科学研究費補助金制度によって大学の研究環境を支援することは日本の研究力を世界第一線のものにし続けるために必須である。</p>
5185	民間企業	50～59歳	総務省	20115	先端ICT技術に関する研究開発	このまま推進すべき	<p>「先端ICT技術に関する研究開発」において、テラヘルツ帯でのリアルタイム計測による非侵襲センサ・イメージング技術及び分光標準等の基盤技術を確立は、生命科学、創薬、セキュリティ等に貢献すると考えられる。その中でも特に免疫反応等に関する開発についてパラダイムを変える可能性がある。</p> <p>抗原抗体反応(免疫反応に關係)の検出に対して現在よく使われている技術には、標識分子や標識酵素が必須である。ところが、全ての抗原抗体反応に標識分子や酵素が必ずしも存在するとは限らない。つまり現在の検出技術の感度は高いが、多くの抗原抗体反応を見落とししている可能性が大きい。テラヘルツ帯での非侵襲センサ・イメージング技術を用いることにより、抗原抗体反応を見落とすことがない、新たなパラダイムを構築することが可能になると考えられる。</p>
5186	民間企業	20～29歳	文部科学省	24125	免疫・アレルギー科学総合研究事業	このまま推進すべき	<p>私自身アレルギー性の疾患を患っているが、今の世の中に全くアレルギーを持っていない人などいないのではないかと、ある種国民病ではないかという程、その疾患は蔓延しているように思える。以前理化学研究所の一般公開に訪れた際、理研では花粉症のワクチンを開発中との事であった。そのような研究をもっと推進すべきであると思う。</p> <p>アレルギー性の疾患を根本的に治すワクチン等を実現してほしい。</p>
5187	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24176	光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発	このまま推進すべき	<p>現代社会を支えている材料に関する知識を発展させるためには、ミクロな立場からの分析が不可欠であり、そのためには、光や量子ビームを自在に扱い、新しい光・量子ビーム技術を開発すること、また、それを行う人材を育て</p> <p>光、量子ビームを利用した分析、計測技術は、我が国の科学及び技術の発展にとって不可欠である。</p>

								ることが重要である。
5188	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24140	RIビームファクトリー計画の推進	このまま推進すべき	このRIビームファクトリー計画は、中性子過剰同位元素や超重元素の探索で世界を圧倒的にリードしている。この世界的リーダーシップを保つためにこのまま積極的に推進すべきである。	このRIビームファクトリー計画は、中性子過剰同位元素や超重元素の探索で世界を圧倒的にリードしている。この世界的リーダーシップを保つためにこのまま積極的に推進すべきである。
5189	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	研究者の研究活動を支援する重要な制度であり、着実な予算確保が必要。特に「若手研究(A)・(B)」は、若い研究者にとって研究費獲得の登龍門となっており、大幅な拡充は必要である。	私自身も若手(A)に採択され、ようやく大きな研究課題に取り組めるようになったばかりです。本当に努力して成果を出そうとしている研究者に十分な研究費を与えるべきだと考えます。
5190	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	科学の健全な発展のため必要不可欠	科学の健全な発展のため必要不可欠
5191	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24140	RIビームファクトリー計画の推進	このまま推進すべき	RIビームファクトリー計画を今後も推進すべきである。	RIビームファクトリー計画では、欧米において計画されている同様の計画に先んじて研究施設が完成しており、現在、この分野において日本が世界における主導権を握る最大のチャンスが訪れている。RIビームファクトリーに建設される加速器・測定器群は世界最高性能を誇るものであるから、この機会を逃すことなく計画を推進すべきである。
5192	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	科学研究費補助金によってさまざまな研究が成り立っている。短期的に効果が得られないような研究は通常予算が取りにくく行いにくいですが、科学研究費補助金によって実現可能になる研究も多い。	長期的にみると社会に多大な貢献をする研究をする機会を与えるものであるため、研究資金としてとても重要である。企業からの支援や共同研究も減っている中、科学研究費補助金の意義は大きくなっていると思う。
							農林水産業は、温暖化	温暖化は既に実感され

5193	その他	50～59歳	農林水産省	26102	気候変動に対応した循環型食料生産等の確立のための技術開発	このまま推進すべき	ガスの発生源であると共に吸収源であるので、両者をターゲットとした研究を進める必要がある。発生量を減らす研究、吸収能を高める研究とも必要。また、温暖化は農産物生産を直撃するので、適応策を早急に開発する必要がある。	るまでになっており、研究を強化・加速する必要がある。また、農畜産業の生産は工業品と異なり、原則、自然環境下で生産されるので、農林水産省は適応策として低コスト温暖化適応策を早急に開発することが必要と考える。	
5194	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24009	特別奨励研究員事業	このまま推進すべき		より拡充して、大いに進めるべきである。	我が国の存立は科学および技術の発展に依っている。しかも、研究の主体は人であり、その育成は我が国施策の最重要課題であることは言を俟たない。
5195	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24149	国立大学法人等施設の整備	このまま推進すべき	国立大学法人は日本の人材育成の中心地であり、継続的に整備を行い国力、国際競争力を維持することは日本にとって極めて重要なものである。		国立大学法人への整備が存在しないと言うことは日本のために必要な人材育成が行われないうことと同義である。国立大学法人等施設の整備は必然的に行われなければならないと考えられる。
5196	民間企業	40～49歳	経済産業省	27109	低炭素社会を実現する超軽量・高強度革新的融合材料プロジェクト	このまま推進すべき	日本発の技術であるカーボンナノチューブの実用化を目指している。推進すべき。		国家レベルでの新たな産業競争力へつなげる技術である。
5197	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	日本の大学、国立研究所における研究はほぼ全て科研費補助金に依存していると言って過言ではない。科研費の減少は、日本の研究の衰退に繋がる。基礎科学の一部には今すぐに成果が得られないような研究もあるが、将来大きく発展する可能性もあるので、短期的な視点に捕らわれず、将来の日本に投資していると考え強気に推進すべきである。		いくらアイデア、能力があっても、研究費が無ければ研究を推進できず、海外の競争者達に負けてしまう研究もある。基礎研究分野ではすぐに成果が期待できなかったり、他分野の研究者には評価が難しい場合もあるが、研究への投資はインフラストラクチャーへの投資と同じであり、将来の国力に繋がっているはずである。 仕分けの時に「一番にならないといけないか」という質問をした議員がいたが、「一番を目指さない一流の研究はできない、その結果一番になれるかどうかは別。

							そのための予算が欲しい」というのが研究者達の本音であろう。	
5198	大学・公的研究機関(独法・公設等)	60歳～	文部科学省	24176	光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発	このまま推進すべき	人材育成を行う際に、東西拠点での共通講義や交換トレーニングなども導入するとよい。	最先端の研究開発に若手研究者等の積極的な参加を求めることにより、次世代の光・量子科学技術を担う若手人材の育成を図ることは、大変重要である。
5199	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	<p>科学研究費補助金は基礎研究を支えてきた最も重要な予算の一つです。DNAにせよES細胞やiPS細胞にせよ、歴史に残る発見の数々は国家主導の研究ではなく研究者の自由な発想による基礎研究によってなされてきました。資源のない我が国にとっては、基礎研究とそれを基にした応用研究・技術革新は国の根幹です。こうした基礎研究を支える科学研究費補助金事業を一層推進すべきであると考えます。</p>	<p>基礎研究は数年ですぐに社会に還元できるような結果が出るようなものではありません。しかしながら、基礎研究がなければ技術革新やイノベーションもありません。歴史を振り返ってみれば、基礎研究をおろそかにしてこなかった国々が現在の発展を享受しております。このように、基礎研究はまさに国の根幹です。基礎研究をさらに発展させ、将来の我が国の競争力を育てるために、科学研究費補助金事業の推進は不可欠であると考えます。現在、若手研究者への予算を縮減する議論がなされていますが、こうした現状を若き学生が見れば誰も研究者を目指そうとはしなくなりません。そうなれば、今後の基礎研究の地盤沈下は避けられません。すでに、研究者になる大学生・大学院生の数は減少しており、地盤沈下は始まっています。学生にとって研究者が魅力的な職業となるように、特に若手による基礎研究を広く支援していくことが緊急の課題であると考えます。</p>
	大学・公的研究機関	50～	文部		国際宇宙ス	このまま	国際宇宙ステーション計画は人類史上最大の国際協力事業であり我が国はこれまで多大な投資をしてきた結果、その完成に近づきつつあり、これまでに多大な技	国際宇宙ステーションの日本実験棟(JEM)の外部プラットフォームは日本独自の設備であり、これを利用したユニークな実験が各種提案され

5200	(独 法・公 設試 等)	59歳	科学 省	24168	テーション計 画	推進す べき	術的成果を上げてき た。これをさらに進める ことにより、今後は多く の科学的成果が見込め ると考えられるので、こ の計画をさらに推進す べきである。	ている。特にJEM- EUSOミッションは極限 エネルギー宇宙を探る 極めて重要な実験装置 であり、実現されること が強く望まれる。
------	-----------------------	-----	---------	-------	-------------	-----------	--	---